



世田谷プラットフォーム

単位互換共通シラバス

大学院地理学分野



国士舘大学



駒澤大学

大学院地理学分野 目次

国士舘大学

ページ	科目名称	年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員氏名漢字	授業形態
1	地理・地域論演習 1Ⅰ	2020	通年	水	6	4	加藤 幸治	演習
3	地理・地域論演習 1Ⅱ	2020	通年	水	7	4	加藤 幸治	演習
5	地理・地域論特論 1	2020	通年	火	3	4	加藤 幸治	講義
7	地理・地域論演習 2Ⅰ	2020	通年	土	1	4	内田 順文	演習
9	地理・地域論演習 2Ⅱ	2020	通年	土	2	4	内田 順文	演習
11	地理・地域論研究 1	2020	通年	土	3	4	内田 順文	講義
13	地理・地域論演習 3Ⅰ	2020	通年	火	2	4	岡島 建	演習
15	地理・地域論演習 3Ⅱ	2020	通年	火	3	4	岡島 建	演習
17	歴史地理学特論 1	2020	通年	火	4	4	岡島 建	講義
19	地理・地域論演習 4Ⅰ	2020	通年	水	1	4	佐々木 明彦	演習
21	地理・地域論演習 4Ⅱ	2020	通年	水	2	4	佐々木 明彦	演習
23	地理・地域論実習 1	2020	通年	火	1	4	佐々木 明彦	講義（実習）
26	地理・地域論演習 5Ⅰ	2020	通年	月	4	4	長谷川 均	演習
28	地理・地域論演習 5Ⅱ	2020	通年	月	5	4	長谷川 均	演習
30	地理・地域論実習 2	2020	通年	集中講義		4	長谷川 均	講義（実習）
32	地理・地域論演習 6Ⅰ	2020	通年	木	3	4	磯谷 達宏	演習
35	地理・地域論演習 6Ⅱ	2020	通年	木	6	4	磯谷 達宏	演習
37	地理・地域論研究 3	2020	通年	水	1	4	磯谷 達宏	講義
39	地理・地域論特論 2	2020	通年	金	2	4	中川 秀一	講義
41	地理・地域論特論 3	2020	通年	水	1	4	鈴木 毅彦	講義

駒澤大学

ページ	科目名称	年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員氏名漢字	授業形態
43	地理学特講Ⅰ	2020	通年	火	3	4	橋詰 直道	講義
46	地理学特講Ⅰ	2020	通年	月	4	4	橋詰 直道	演習
49	自然地理学特講Ⅰ	2020	通年	月	4	4	鈴木 秀和	講義
52	自然地理学特講Ⅰ	2020	通年	月	3	4	鈴木 秀和	演習
55	自然地理学特講Ⅱ	2020	通年	金	3	4	平井 幸弘	講義
58	自然地理学特講Ⅱ	2020	通年	金	1	4	平井 幸弘	演習
61	自然地理学特講Ⅲ	2020	通年	火	5	4	柳田 誠	講義
64	人文地理学特講Ⅱ	2020	通年	月	2	4	佐藤 哲夫	講義
67	人文地理学特講Ⅱ	2020	通年	月	1	4	佐藤 哲夫	演習
70	人文地理学特講Ⅲ	2020	通年	土	3	4	王尾 和寿	講義
73	人文地理学特講Ⅴ	2020	通年	月	4	4	小田 匡保	講義
76	人文地理学特講Ⅴ	2020	通年	月	3	4	小田 匡保	演習
79	地誌学特講Ⅰ	2020	通年	木	2	4	高橋 健太郎	講義
82	地誌学特講Ⅰ	2020	通年	木	3	4	高橋 健太郎	演習
85	地誌学特講Ⅲ	2020	通年	金	3	4	小野 映介	講義
88	地誌学特講Ⅲ	2020	通年	金	2	4	小野 映介	演習
91	地図学特講Ⅰ	2020	通年	水	4	4	田中 靖	講義
94	地図学特講Ⅰ	2020	通年	水	3	4	田中 靖	演習
97	地域文化研究特講Ⅱ	2020	通年	木	1	4	須山 聡	講義
100	地域文化研究特講Ⅱ	2020	通年	水	2	4	須山 聡	演習
103	地域環境研究特講Ⅰ	2020	通年	金	1	4	鈴木 重雄	講義
106	地域環境研究特講Ⅰ	2020	通年	火	3	4	鈴木 重雄	演習
109	地域環境研究特講Ⅱ	2020	通年	金	2	4	江口 卓	講義
112	地域環境研究特講Ⅱ	2020	通年	金	3	4	江口 卓	演習
115	地域調査特講	2020	前期	金	2	2	須山 聡	講義
117	地域評価特講	2020	後期	金	2	2	須山 聡	講義

地理・地域論演習 1 I

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週17)通年	開講時限	水6
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071031100		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 1 I					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 1 I					
担当教員	加藤 幸治					

授業形態	演習		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	経済地理学の演習		

授業の概要・ねらい	修士課程1年の学生を対象として、経済地理学または関連分野の文献（図書、論文）の輪読を通じて、経済地理学の理論と方法をより深く学ぶ。文献にはフィールドワークに関係する文献を含み、多くのフィールドワークの実践例を読むことで、フィールドワークをもとにした論文・報告の組み立て方、実践的な論文作成方法を学ぶ。それを通じて、夏・春休み等を利用して実施するフィールドワークに関する研究や実践、まとめに関する議論も行う。					
到達目標	経済地理学的に対象事象について説明できる					
教科書と準備するもの	受講生との相談により決定する					
参考書	適宜指示する					
評価の基準	経済地理学に関する適切な質問や説明ができる					
具体的評価方法	平常点（80-100%）とレポート（0-20%）					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	専門的な演習であればこそ、受講者の積極的な取り組みがなければ成立しない授業である。受講者の積極的な取り組みを期待したい。					
単位互換						
特記	とくになし					

授業計画

第1回	内容	ガイダンス	第16回	内容	秋期ガイダンス
	授業時間外における学修（予習・復習等）	内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	内容確認
	授業実施特記			授業実施特記	
第2回	内容	研究課題構想	第17回	内容	夏期調査報告1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第3回	内容	卒業論文内容発表	第18回	内容	夏期調査報告2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表者は発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第4回	内容	卒業論文内容発表	第19回	内容	輪読と討論7 調査のまとめ方1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表者は発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第5回	内容	輪読と討論1	第20回	内容	輪読と討論8 調査のまとめ方2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第6回	内容	輪読と討論2	第21回	内容	輪読と討論9 分析
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第7回	内容	輪読と討論3	第22回	内容	修士論文構想
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理と修士論文構想へのその反映

	授業実施特記			授業実施特記	
第8回	内容	輪読と討論 4 地域調査事例の研究 1	第23回	内容	輪読と討論10
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第9回	内容	輪読と討論 5 地域調査事例の研究	第24回	内容	輪読と討論11
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第10回	内容	輪読と討論 6 地域調査事例の研究 3	第25回	内容	輪読と討論12 調査計画 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第11回	内容	修士論文研究の構想 1 問題意識の設定に関する討論	第26回	内容	輪読と討論13 調査計画 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第12回	内容	修士論文研究の構想 2 野外調査に関する質疑と討論	第27回	内容	輪読と討論14 調査実務について
	授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第13回	内容	論文の輪読と討論 1 修論構想をふまえて	第28回	内容	修士論文テーマに関する質疑と討論 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理とその研究への反映
	授業実施特記			授業実施特記	
第14回	内容	論文の輪読と討論 2 修論構想をふまえて	第29回	内容	修士論文テーマに関する質疑と討論 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理とその研究への反映
	授業実施特記			授業実施特記	
第15回	内容	春期のまとめと夏期調査予定等の確認	第30回	内容	まとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理 春期の内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	内容確認 演習全体を内容反復と自的集約
	授業実施特記			授業実施特記	

地理・地域論演習 1 II

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	水7
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071031200		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 1 II					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 1 II					
担当教員	加藤 幸治					

授業形態	演習		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	経済地理学の演習		

授業の概要・ねらい	修士課程2年の学生を対象として、経済地理学または関連分野の文献（図書、論文）の輪読を通じて、経済地理学の理論と方法をさらに深く学ぶ。文献にはフィールドワークに関係する文献を含み、多くのフィールドワークの実践例を読むことで、フィールドワークをもとにした論文・報告の組み立て方、実践的な論文作成方法を学ぶ。それを通じて、実施する修士論文に関わるフィールドワークに関する研究や実践、研究のまとめに関する議論も行う。					
到達目標	研究内容について経済地理学的に説明できる。					
教科書と準備するもの	とくになし					
参考書	適宜指示する					
評価の基準	経済地理学に関する適切な説明やまとめができる。					
具体的評価方法	平常点（100%） 授業内容は修士論文そのものに反映されるため					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	専門的な演習であればこそ、受講者の積極的な取り組みがなければ成立しない授業である。受講者の積極的な取り組みを期待したい。					
単位互換						
特記	とくになし					

授業計画

第1回	内容	ガイダンス	第16回	内容	秋期ガイダンス
	授業時間外における学修（予習・復習等）	内容確認		授業時間外における学修（予習・復習等）	内容確認
	授業実施特記			授業実施特記	
第2回	内容	研究課題構想	第17回	内容	夏期調査報告 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第3回	内容	研究進捗状況発表	第18回	内容	夏期調査報告 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表者は発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第4回	内容	研究進捗状況発表	第19回	内容	輪読と討論 7 調査のまとめ方 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表者は発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第5回	内容	輪読と討論 1	第20回	内容	輪読と討論 8 調査のまとめ方 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第6回	内容	輪読と討論 2	第21回	内容	輪読と討論 7 分析
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理
	授業実施特記			授業実施特記	
第7回	内容	輪読と討論 3	第22回	内容	修士論文中間発表
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理と修士論文へのその反映

	授業実施特記			授業実施特記	
第8回	内容	輪読と討論4 地域調査事例の研究1	第23回	内容	修士論文進捗状況報告1 分析内容1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理と修士論文へのその反映
	授業実施特記			授業実施特記	
第9回	内容	輪読と討論5 地域調査事例の研究2	第24回	内容	修士論文進捗状況報告2 分析内容2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理と修士論文へのその反映
	授業実施特記			授業実施特記	
第10回	内容	輪読と討論6 地域調査事例の研究3	第25回	内容	修士論文進捗状況報告3 展開方法・論理1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理と修士論文へのその反映
	授業実施特記			授業実施特記	
第11回	内容	修士論文研究の内容確認1 問題意識の設定に関する討論	第26回	内容	修士論文進捗状況報告4 展開方法・論理1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理と修士論文へのその反映
	授業実施特記			授業実施特記	
第12回	内容	修士論文研究の構想2 野外調査に関する質疑と討論	第27回	内容	修士論文進捗状況報告5 論理構成1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理と修士論文へのその反映
	授業実施特記			授業実施特記	
第13回	内容	論文の輪読と討論1 修論内容発表と討論をふまえて	第28回	内容	修士論文進捗状況報告6 論理構成2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理と修士論文へのその反映
	授業実施特記			授業実施特記	
第14回	内容	論文の輪読と討論2 修論内容発表と討論をふまえて	第29回	内容	修士論文進捗状況報告7 確認
	授業時間外における学修（予習・復習等）	輪読文献を読む、レポーターは発表準備 討論内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理と修士論文へのその反映
	授業実施特記			授業実施特記	
第15回	内容	春期のまとめと夏期調査予定等の確認	第30回	内容	まとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容確認・整理 春期の内容確認・整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	内容確認
	授業実施特記			授業実施特記	

地理・地域論特論 1

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週17)通年	開講時限	火3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071005100		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論特論 1					
英文授業名	Special Studies in Geography ant Regional Studies 1					
担当教員	加藤 幸治					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	経済地理学		

授業の概要・ねらい	「サービス経済化」が進展するとともに、グローバル化が本格化するなかでの、企業・産業の地理的展開について経済地理学的視点から捉える方法を考えていくことが目的となる。担当者の専門から製造業～サービス業、とりわけ事業所サービス業や公共サービス業に焦点をあてた講義が展開されることになる。 経済地理学に関する内容であれば、受講者の積極的な希望により講義内容を大幅に変更する場合もある。
到達目標	経済地理学的思考にもとづいて考え、説明することができるようになる。
教科書と準備するもの	受講生との相談により設定する場合がある。
参考書	適宜指示する
評価の基準	経済地理学的思考ができる。
具体的評価方法	平常点とレポートにより評価する。 平常点 講義に関する質問や発言内容・回数 (60-80%) レポート (20-40%)
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	受講者の積極的な取り組みを期待したい。
単位互換	
特記	とくになし

授業計画

第1回	内容	ガイダンス 講義内容の相談	第16回	内容	秋期ガイダンス
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認
	授業実施特記			授業実施特記	
第2回	内容	経済学の基礎知識の確認	第17回	内容	中心地理論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第3回	内容	経済地理学の課題と方法 1	第18回	内容	クリスタラーの中心地理論 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第4回	内容	経済地理学の課題と方法 2	第19回	内容	クリスタラーの中心地理論 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第5回	内容	経済地理学の課題と方法 3	第20回	内容	クリスタラーの中心地理論とその応用
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第6回	内容	地域構造論の方法と課題	第21回	内容	「サービス立地論」のために
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第7回	内容	地域構造論の成果と課題	第22回	内容	サービス経済化の歴史的展開
	授業時間外における学修（予習・復	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般

	習等)			習等)	
	授業実施特記			授業実施特記	
第8回	内容	立地論とは	第23回	内容	サービス経済化の捉え方
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第9回	内容	チューネンの農業立地論	第24回	内容	日本におけるサービス経済化の進展とその地理的特徴
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第10回	内容	チューネン理論の応用 1	第25回	内容	サービス経済化と都市の階層構造
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第11回	内容	チューネン理論の応用 2	第26回	内容	地方圏におけるサービス業の立地とその実態
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第12回	内容	チューネン圏と都市の地価	第27回	内容	地方中枢都市における情報サービス業の展開
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第13回	内容	ウェーバーの工業立地論	第28回	内容	情報サービスの地域的循環
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第14回	内容	ウェーバー理論の適応とその限界	第29回	内容	サービス消費機会の地域的格差
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容の確認、不明事項の確認など復習一般
	授業実施特記			授業実施特記	
第15回	内容	まとめ 経済地理学の理論と立地論	第30回	内容	まとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	まとめをふまえたレポート作成		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義全体にわたる内容の確認など復習一般 それを踏まえたレポートを課す場合がある
	授業実施特記			授業実施特記	

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	±2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071031300		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 2 I					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 2 I					
担当教員	内田 順文					

授業形態	演習		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	修士論文執筆のための基本的な方法を実践的に学ぶ		

授業の概要・ねらい	修士論文作成の1年目にあたり、当該分野のフィールドワークに関係する論文を定期的に読み、その論文の内容について、発表・討論することで、論文作成に関わる研究計画・調査・分析・論文執筆の基本的な方法を実践的に学ぶ。また、休暇や週末を利用して実施する野外調査に関する計画や実践、調査結果のまとめや分析に関する議論も行う。これによって、修士論文作製の目的意識や研究テーマを具体的に確定し、データ収集のために必要な地域調査と結果の分析する方法を学ぶ。					
到達目標	論文作成に関わる研究計画・調査・分析・論文執筆の基本的な方法について理解する。					
教科書と準備するもの	必要に応じて、適宜指示する。					
参考書	必要に応じて、適宜指示する。					
評価の基準	①しっかりと論文を読み、発表できたか、②教員との間での確かな討論ができたか、の2点によって評価する。					
具体的評価方法	発表内容（60%）と討論の内容（30%）、授業中の態度（10%）。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	論文の作成に必要な知識と技術を身につけられるよう、丁寧に指導します。					
単位互換						
特記						

授業計画

第1回	内容	ガイダンス 備考) 講義の内容は、受講者のテーマに応じて内容を変更するため、授業計画に詳細は記載しない。文献研究の内容をもとに、週末などを利用した野外調査や地域調査を実施する。第23回以降の講義では、受講者が実施するフィールドワークの計画から実施、およびその結果の分析について具体的に討論を行う。	第16回	内容	地域調査に関する資料の収集についての討論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第2回	内容	文献の発表と討論	第17回	内容	文献の発表と討論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第3回	内容	文献の発表と討論	第18回	内容	文献の発表と討論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第4回	内容	文献の発表と討論	第19回	内容	文献の発表と討論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第5回	内容	文献の発表と討論	第20回	内容	地域調査に関する資料の紹介と討論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第6回	内容	文献の発表と討論	第21回	内容	文献の発表と討論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジュメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	

第7回	内容	文献の発表と討論	第22回	内容	文献の発表と討論
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジユメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第8回	内容	文献の発表と討論	第23回	内容	地域調査の事例研究 1 計画
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（地域調査計画の作成、レジユメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第9回	内容	文献の発表と討論	第24回	内容	地域調査の事例研究 2 計画
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（地域調査計画の作成、レジユメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第10回	内容	文献の発表と討論	第25回	内容	地域調査の事例研究 3 計画の検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（地域調査計画の作成、レジユメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第11回	内容	文献の発表と討論	第26回	内容	地域調査の事例研究 4 調査実務
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（地域調査計画の作成、レジユメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第12回	内容	文献の発表と討論	第27回	内容	地域調査の事例研究 5 調査実務
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（地域調査計画の作成、レジユメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第13回	内容	文献の発表と討論	第28回	内容	地域調査の事例研究 6 調査結果のまとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（地域調査計画の作成、レジユメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第14回	内容	文献の発表と討論	第29回	内容	地域調査の事例研究 7 分析
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（論文の選定、論文の講読、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（地域調査計画の作成、レジユメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第15回	内容	夏期休暇中の野外調査計画に関する討論	第30回	内容	地域調査の事例研究 8 報告書の作成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	夏期休暇中の課題の遂行。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（地域調査計画の作成、レジユメの作成）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	±1
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071031400		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 2 II					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 2 II					
担当教員	内田 順文					

授業形態	演習		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	修士論文の作成		

授業の概要・ねらい	修士論文作成の2年目にあたり、論文作成に関わる研究計画・調査・分析・論文執筆について、発表・討論する。また、休暇や週末を利用して実施する野外調査に関する計画や実践、調査結果のまとめや分析に関する議論も行う。これによって、修士論文執筆までの過程を実践的に学ぶ。					
到達目標	しっかりと修士論文を作成する。					
教科書と準備するもの	必要に応じて、適宜指示する。					
参考書	必要に応じて、適宜指示する。					
評価の基準	①しっかりと論文を読み、発表できたか、②教員との間での確かな討論ができたか、の2点によって評価する。					
具体的評価方法	発表内容（60%）と討論の内容（30%）、授業中の態度（10%）。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	論文の作成に必要な知識と技術を身につけられるよう、丁寧に指導します。					
単位互換						
特記						

授業計画

第1回	内容	ガイダンス テーマの選定	第16回	内容	現地調査結果のまとめと報告 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査結果のまとめ、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第2回	内容	情報収集方法の検討	第17回	内容	現地調査結果のまとめと報告 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査結果のまとめ、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第3回	内容	先行研究の分類 1	第18回	内容	現地調査結果のまとめと報告 3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査結果のまとめ、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第4回	内容	先行研究の分類 2	第19回	内容	国土空間情報を使った解析 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第5回	内容	調査研究地域の選定 1	第20回	内容	国土空間情報を使った解析 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第6回	内容	調査研究地域の選定 2	第21回	内容	国土空間情報を使った解析 3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第7回	内容	空間情報の収集	第22回	内容	国勢調査、都市計画基礎調査のデータ解析 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	

第8回	内容	収集資料の整理 1	第23回	内容	国勢調査、都市計画基礎調査のデータ解析 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第9回	内容	収集資料の整理 2	第24回	内容	収集した資料の整理と確認
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第10回	内容	研究史の作成 1	第25回	内容	論文の構成に関する検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第11回	内容	研究史の作成 2	第26回	内容	とりまとめ方法の検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第12回	内容	研究課題の確定	第27回	内容	現地調査（追加調査）で実施すべき項目の検討 図表リストの検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第13回	内容	対象地域に関するGIS情報の整理	第28回	内容	GISを使った図の作成に関する検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第14回	内容	GIS情報を使った事前調査	第29回	内容	とりまとめ方法の確定
	授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（調査計画の分析、レジユメの作成）を行う。		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	
第15回	内容	GIS情報を使った解析 （夏期休暇中に現地調査を実施する）	第30回	内容	とりまとめと報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	夏期休暇中の課題の遂行		授業時間外における学修（予習・復習等）	次回発表の準備（分析結果の考察、論文本体の執筆）を行う。
	授業実施特記			授業実施特記	

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	±3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071002700		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論研究 1					
英文授業名	Research in Geography and Regional Studies 1					
担当教員	内田 順文					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	地理的イメージ、記号論、認知行動論、人文主義的地理学		

授業の概要・ねらい	近年、社会において高度な情報化が浸透し、一方で人間性回復の必要性が重視されはじめたことにともない、広い意味での地理的イメージに関する研究が、認知地理学および人文主義地理学をはじめ、地理学のいくつかの分野で触れられることも多くなってきた。 この講義では、主として人文主義地理学の視点に立ち、既存の学問分野の領域にとらわれず、社会学・心理学・文学・記号論など複数の分野にまたがる広範なフィールドで、地理的イメージにかかわる基本的な事項について講義する。					
到達目標	地理的イメージにかかわる基本的な事項と応用面について理解する。					
教科書と準備するもの	必要に応じて、適宜指示する。					
参考書	必要に応じて、適宜紹介する。					
評価の基準	地理的イメージにかかわる基本的な事項についての理解度によって評価する。					
具体的評価方法	授業での発言・発表の内容（70%）、発表の準備状況（30%）。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	論文の作成に必要な知識と技術を身につけられるよう、丁寧に指導します。					
単位互換						
特記						

授業計画

第1回	内容	ガイダンス ※以下の授業計画は、受講生からの主体的な要望に応じて、授業内容を変更する場合もある。	第16回	内容	芸術作品の中の場所イメージ（1） 歌枕に見る場所イメージの記号化
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第2回	内容	イメージと場所イメージ：イメージとは何か？ イメージの定義 イメージと地理学	第17回	内容	芸術作品の中の場所イメージ（2） 和歌と場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第3回	内容	記号論入門（1） 記号とは何か？ サインと言語	第18回	内容	芸術作品の中の場所イメージ（3） 俳句と場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第4回	内容	記号論入門（2） シンボルとコノーテーション	第19回	内容	芸術作品の中の場所イメージ（4） 詩と場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記			授業実施特記	なし
第5回	内容	記号論入門（3） 文化記号論：文化を記号として理解する	第20回	内容	芸術作品の中の場所イメージ（5） 小説と場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第6回	内容	個人的な場所と地名（1）	第21回	内容	芸術作品の中の場所イメージ（6）

		子供の見る世界：原風景			絵画と場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第7回	内容	個人的な場所と地名（2） 文学と原風景	第22回	内容	芸術作品の中の場所イメージ（7） 音楽と場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第8回	内容	個人的な場所と地名（3） 地名の本質 地名と場所イメージ	第23回	内容	芸術作品の中の場所イメージ（8） 映画と場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第9回	内容	社会的な地名と場所（1） メンタルマップ 都市の空間構造の認識	第24回	内容	社会と場所イメージ（1） マスメディアと場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第10回	内容	社会的な地名と場所（2） 意味の認識 都市のイメージ	第25回	内容	社会と場所イメージ（2） 都市文化と場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第11回	内容	比喩的認識と場所イメージ（1） 比喩的認識とは何か？	第26回	内容	社会と場所イメージ（3） 大衆文化と場所イメージ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第12回	内容	比喩的認識と場所イメージ（2） 都市のシンボル：場所の換喩的認識	第27回	内容	景観と場所イメージ（1） 景観とは何か
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第13回	内容	比喩的認識と場所イメージ（3） 姉妹都市と名数：場所の隠喩的認識	第28回	内容	景観と場所イメージ（2） 浮世絵に描かれた景観
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第14回	内容	比喩的認識と場所イメージ（4） 比喩的認識の記号化と場所イメージ	第29回	内容	景観と場所イメージ（3） 現代都市の景観
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第15回	内容	前半のまとめと夏期休暇中の課題について	第30回	内容	景観と場所イメージ（4） ファンタジーの中の景観
	授業時間外における学修（予習・復習等）	夏期休暇中の課題の遂行。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義内容について、さまざまな資料を調べ、理解を深めておくこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	火2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071031500		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 3 I					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 3 I					
担当教員	岡島 建					

授業形態	演習		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	近現代日本の地域構造と地域形成		

授業の概要・ねらい	修士課程1年生を対象とする。近現代日本の地域構造と地域形成について、その研究対象と研究方法、および近年の研究成果と注目すべき論点について、文献研究を進めながら、議論する。対象とする文献は、地域調査をもとに作成されたものとし、多くの地域調査の実践例やそれらをもとにした論文やレポートの組み立て方、実践的な作成方法を学ぶ。また、休暇や連休を利用した受講学生自身の地域調査に関する計画や実践、まとめについての検討も行う。					
到達目標	科学的意図と手続きに基づく調査法、地域や時代によって異なる事情に基づく調査のあり方を学び、自身の調査に反映させることができる。					
教科書と準備するもの	特になし					
参考書	山根拓・中西僚太郎編『近代日本の地域形成』海青社。その他随時紹介。					
評価の基準	科学的意図と手続きに基づく調査法、地域や時代によって異なる事情に基づく調査のあり方を理解し会得することができる。					
具体的評価方法	討論への参加態度、論文講読および地域調査に関する学修を通じた発表を評価する。					
実務経験教員による授業科目	該当しない					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	ゼミ形式であるので特別な事由以外の欠席が認められない。					
単位互換						
特記	特になし					

授業計画

第1回	内容	ガイダンス	第16回	内容	近現代日本の都市地域の形成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第2回	内容	近代日本の地域構造	第17回	内容	論文講読（10）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第3回	内容	論文講読（1）	第18回	内容	論文講読（11）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第4回	内容	論文講読（2）	第19回	内容	論文講読（12）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第5回	内容	論文講読（3）	第20回	内容	近代日本の文化地域の形成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第6回	内容	近現代日本の工業地域の形成	第21回	内容	論文講読（13）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第7回	内容	論文講読（4）	第22回	内容	論文講読（14）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備

	る学修（予習・復習等）	討論内容整理		る学修（予習・復習等）	討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第8回	内容	論文講読（5）	第23回	内容	地域調査事例研究1 計画
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第9回	内容	論文講読（6）	第24回	内容	地域調査事例研究2 計画
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第10回	内容	近現代日本の交通地域の形成	第25回	内容	地域調査事例研究3 計画の検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第11回	内容	論文講読（7）	第26回	内容	地域調査事例研究4 調査実務
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第12回	内容	論文講読（8）	第27回	内容	地域調査事例研究5 調査実務
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第13回	内容	論文講読（9）	第28回	内容	地域調査事例研究6 調査結果のまとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第14回	内容	地域調査に関する資料収集について	第29回	内容	地域調査事例研究7 分析
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第15回	内容	夏期休暇中の地域調査計画	第30回	内容	地域調査事例研究8 報告書の作成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週137)通年	開講時限	火3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071031600		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 3 II					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 3 II					
担当教員	岡島 建					

授業形態	演習		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	歴史地理学特論 1	
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	歴史地理学または交通地理学の演習		

授業の概要・ねらい	修士課程 2 年の学生を対象として、特定の課題を設定し研究計画から論文執筆までの過程を実践的に学ぶ。					
到達目標	研究内容について歴史地理学・交通地理学的に説明できる					
教科書と準備するもの	とくに使用しない					
参考書	授業時に適宜指示する					
評価の基準	歴史地理学または交通地理学に関する適切な説明やまとめができる					
具体的評価方法	発表、討論の内容、研究成果の内容で評価する。					
実務経験教員による授業科目	該当しない					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	ゼミ形式であるので特別な事由以外の欠席が認められない。					
単位互換						
特記	特になし					

授業計画

第1回	内容	テーマの選定	第16回	内容	現地調査結果のまとめと報告 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第2回	内容	情報収集方法の検討	第17回	内容	現地調査結果のまとめと報告 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第3回	内容	先行研究の分類 1	第18回	内容	現地調査結果のまとめと報告 3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第4回	内容	先行研究の分類 2	第19回	内容	国土空間情報を使った解析 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第5回	内容	調査研究地域の選定 1	第20回	内容	国土空間情報を使った解析 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第6回	内容	調査研究地域の選定 2	第21回	内容	国土空間情報を使った解析 3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第7回	内容	空間情報の収集	第22回	内容	国勢調査、都市計画基礎調査のデータ解析 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし

第8回	内容	収集資料の整理 1	第23回	内容	国勢調査、都市計画基礎調査のデータ解析 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第9回	内容	収集資料の整理 2	第24回	内容	収集した資料の整理と確認
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第10回	内容	研究史の作成 1	第25回	内容	論文の構成に関する検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第11回	内容	研究史の作成 2	第26回	内容	とりまとめ方法の検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第12回	内容	研究課題の確定	第27回	内容	現地調査（追加調査）で実施すべき項目の検討 図表リストの検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第13回	内容	対象地域に関するGIS情報の整理	第28回	内容	GISを使った図の作成に関する検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第14回	内容	GISを使った事前調査	第29回	内容	とりまとめ方法の確定
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第15回	内容	GISを使った解析 （夏期休暇中に現地調査を実施する）	第30回	内容	とりまとめと報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	発表準備 討論内容整理
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	火4
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071006000		科目ナンバー			
授業名	歴史地理学特論 1					
英文授業名	Special Studies in Historical Geography 1					
担当教員	岡島 建					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業	特になし		
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	歴史地理学の方法、旧版地形図、歴史景観の復元、近代歴史地理学		

授業の概要・ねらい	まず、歴史地理学の研究方法、日本における地図の歴史と旧版地形図の読解について学ぶ。次に、近代日本を特徴づける歴史景観の復元と近代歴史地理学の方法を考察する。 最後に、地図、統計類、文献資料などから各時代の武蔵野の景観を解明する。 また、授業の理解を深めるための巡検（現地見学）を年間2回程度実施する。					
到達目標	歴史地理学のさまざまな研究方法を習得し、近代日本を特徴づける歴史景観の復元と近代歴史地理学の対象および研究方法を理解する。					
教科書と準備するもの	特になし					
参考書	『歴史地理調査ハンドブック』有園正一郎ほか編、古今書院。『日本地図史』金田章裕・上杉和央、吉川弘文館。『近代日本の地域形成』山根拓・中西僚太郎編、海青社。ほか					
評価の基準	歴史地理学のさまざまな研究方法を習得し、近代日本を特徴づける歴史景観の復元と近代歴史地理学の対象および研究方法を理解することができる。					
具体的評価方法	平常点（小テスト・授業態度等）により評価する。					
実務経験教員による授業科目	該当しない					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	授業の具体的内容について、受講生の専門分野との関連性を配慮する。					
単位互換						
特記	特になし					

授業計画

第1回	内容	歴史地理学の体系 歴史地理学の研究方法	第16回	内容	近代歴史地理学研究の展開 1：日本の鉄道建設
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第2回	内容	旧版地形図から歴史景観を読む（世田谷の景観）	第17回	内容	2：幹線鉄道網の整備
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第3回	内容	旧版地形図から歴史景観を読む（近世江戸の景観）	第18回	内容	3：局地鉄道の展開
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第4回	内容	旧版地形図から歴史景観を読む（近代東京の景観）	第19回	内容	4：「鉄道省文書」の利用
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第5回	内容	日本の地図の歴史（近世以前）	第20回	内容	5：温泉観光地の形成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第6回	内容	日本の地図の歴史（近世）	第21回	内容	6：通勤の起源
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第7回	内容	日本の地図の歴史（近代）	第22回	内容	7：都市運河の整備

	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第8回	内容	近代景観の復原 1：近代都市横浜の建設	第23回	内容	8：民間地図の利用
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第9回	内容	（つづき）	第24回	内容	武蔵野の歴史地理 1：大正の地形図の読図、自然環境・地名・領域
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第10回	内容	2：城下町の明治以降の変容	第25回	内容	2：縄文・古墳・古代・中世の景観と環境
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第11回	内容	3：産業都市と軍事都市	第26回	内容	3：近世の景観と環境
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第12回	内容	近代軍事都市横須賀の発展	第27回	内容	4：近代前期の景観と環境
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第13回	内容	工業都市八幡と川崎	第28回	内容	5：近代後期の景観と環境
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第14回	内容	近代交通機関と交通景観	第29回	内容	6：現代（昭和初期・高度経済成長期）の景観と環境
	授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習		授業時間外における学修（予習・復習等）	参考図書による学習
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第15回	内容	東京横浜巡検	第30回	内容	多摩武蔵野巡検
	授業時間外における学修（予習・復習等）	巡検準備		授業時間外における学修（予習・復習等）	巡検準備
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週11月)通年	開講時限	水1
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071031700		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 4 I					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 4 I					
担当教員	佐々木 明彦					

授業形態	演習		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	防災地形学の演習		

授業の概要・ねらい	修士課程1年の学生を対象として、地形学、気象・気候学をもとにする防災地形学またはその関連分野の文献（図書、論文）の輪読を通じて、防災地形学の理論と方法をより深く学ぶ。 文献にはフィールドワークに関係する文献を含み、多くのフィールドワークの実践例を読むことで、フィールドワークをもとにした論文・報告の組み立て方、実践的な論文作成方法を学ぶ。それを通じて、夏・春休み等を利用して実施するフィールドワークに関する研究や実践、まともにに関する議論も行う。					
到達目標	防災地形学に関する研究方法を理解し、関連知識を蓄積すること。					
教科書と準備するもの	受講生との相談により決定する					
参考書	適宜指示をする					
評価の基準	防災地形学に関する適切な質問や説明ができる					
具体的評価方法	発表や討論の内容によって判断する。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	フィールド調査に役立つ実践的な演習を行います。					
単位互換						
特記	とくになし					

授業計画

第1回	内容	ガイダンス	第16回	内容	夏期調査研究報告（1） 夏期休暇中に実施した野外調査、およびデータの整理・とりまとめ内容を発表・討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）シラバスを読む 復習）内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第2回	内容	卒業論文内容発表（1） 卒業論文の内容を確認し、修士課程での研究の進め方を討論する。	第17回	内容	夏期調査研究報告（2） 夏期休暇中に実施した野外調査、およびデータの整理・とりまとめ内容を発表・討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第3回	内容	卒業論文内容発表（2） 卒業論文の内容を確認し、修士課程での研究の進め方を討論する。	第18回	内容	地盤災害研究法（1） 地すべりの特徴を整理したうえで、地すべり災害について学び、討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第4回	内容	研究課題構想 修士論文の構想と野外調査の進め方について討論する。	第19回	内容	地盤災害研究法（2） 地すべりの発生を抑制・抑止したり、運動の規模を軽減させる方法について学び、討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第5回	内容	気象災害研究法（1） 気象災害の種類や現象の特徴、発生する規模や場所の特徴を学び、質疑・討論する。	第20回	内容	地盤災害研究法（3） 地すべりの減災に関わる論文を読み、発表・討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第6回	内容	気象災害研究法（2）	第21回	内容	地盤災害研究法（4）

		日本における豪雨災害の特徴をいくつかの事例をもとに学び、質疑・討論する。			地すべりの活動兆候を空中写真判読によってとらえる。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読の準備をする 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第7回	内容	気象災害研究法（3） 豪雨災害の研究例について論文を読み、発表・討論する。	第22回	内容	地盤災害研究法（5） 地すべりの空中写真判読図をGISデータ化するための方法論を学び、討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）文献を読むとともに発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第8回	内容	気象災害研究法（4） 豪雨災害の研究に空中写真判読を活用する方法論を学び、質疑・討論する。	第23回	内容	地盤災害研究法（6） 世界および日本における被害地震の事例を学び、どのような被害が発生しうるかを討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第9回	内容	気象災害研究法（5） 豪雨災害の研究にGISを活用する方法論を学び、質疑・討論する。	第24回	内容	地盤災害研究法（7） 地震による地盤の液状化問題について学び、討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第10回	内容	気象災害研究法（6） 豪雨災害の研究に空中写真判読およびGISを活用した論文を読み、発表・討論する。	第25回	内容	地盤災害研究法（8） 地震による地盤の液状化の発生予測のための方法論を学び、討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）文献を読むとともに発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第11回	内容	気象災害研究法（7） 台風の性質や被害の特徴、高潮の発生メカニズムを学び、質疑・討論する。	第26回	内容	地盤災害研究法（9） 地震による地盤の液状化ハザードマップ作成にあたってのデータのGIS化について学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）講義内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第12回	内容	気象災害研究法（8） 台風の性質や被害の特徴、高潮の発生メカニズムに関する研究例を発表・討論する。	第27回	内容	都市における災害研究法（1） 地震時に宅地で発生する被害のメカニズムを学び、討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）文献を読むとともに発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第13回	内容	気象災害研究法（9） 気象災害による被害軽減の方法論を学び、質疑・討論する。	第28回	内容	都市における災害研究法（2） 地震時に発生した宅地被害に関する研究例を発表・討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第14回	内容	気象災害研究法（10） 気象災害の減災に関わる論文を読み、発表・討論する。	第29回	内容	都市における災害研究法（3） GISを用いて人工地盤の範囲を明らかにする方法論について学び、討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）文献を読むとともに発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）テキストを読んでおく 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第15回	内容	春期のまとめと夏期調査予定等の確認	第30回	内容	修論テーマ発表
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）内容の確認 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週117)通年	開講時限	水2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071031800		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 4 II					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 4 II					
担当教員	佐々木 明彦					

授業形態	演習		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	防災地形学の演習		

授業の概要・ねらい	修士課程2年の学生を対象として、地形学、気象・気候学をもとにする防災地形学またはその関連分野の文献（図書、論文）の輪読を通じて、防災地形学の理論と方法をより深く学ぶ。 文献にはフィールドワークに関係する文献を含み、多くのフィールドワークの実践例を読むことで、フィールドワークをもとにした論文・報告の組み立て方、実践的な論文作成方法を学ぶ。それを通じて、修士論文に関わるフィールドワークの実践、まともに関する議論も行う。		
到達目標	防災地形学に関する研究方法を理解し、関連知識を蓄積すること。		
教科書と準備するもの	受講生との相談により決定する。		
参考書	適宜指示をする。		
評価の基準	防災地形学に関する適切な質問や説明ができる。		
具体的評価方法	発表や討論の内容によって判断する。		
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	フィールド調査に役立つ実践的な演習を行います。		
単位互換			
特記	とくになし		

授業計画

第1回	内容	ガイダンス	第16回	内容	現地調査のまとめと報告（1） それまでに得られた調査結果を発表し、データの分析について討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）シラバスを読む 復習）内容整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）内容の確認 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第2回	内容	修士論文テーマ発表	第17回	内容	現地調査のまとめと報告（2） それまでに得られた調査結果を発表し、追加の調査項目を検討する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第3回	内容	修士論文テーマの調査方法に関する発表と討論 先行研究の調査方法を題材としての討論	第18回	内容	現地調査のまとめと報告（3） 地理空間情報のデータ収集をおこなって、現地調査結果を補完する方針を討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第4回	内容	修士論文テーマの調査地域選定に関する発表と討論	第19回	内容	現地調査のまとめと報告（4） 地理空間情報のデータ収集をおこない、現地調査結果を補完する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第5回	内容	修士論文テーマの問題意識の設定に関する発表と討論（1） 先行研究のレビュー①	第20回	内容	現地調査のまとめと報告（5） GISを用いた解析をおこない、その結果について討論する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第6回	内容	修士論文テーマの問題意識の設定に関する発表と討論（2） 先行研究のレビュー②	第21回	内容	現地調査のまとめと報告（6） GISを用いた解析の結果を整理する。

	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第7回	内容	修士論文テーマの問題意識の設定に関する発表と討論（3） 先行研究のレビュー③	第22回	内容	現地調査の追加報告（1） 先に検討した追加の調査結果を実施し、成果を報告する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第8回	内容	修士論文の研究史の作成 研究史について整理し、発表・討論する。	第23回	内容	現地調査の追加報告（2） 先に検討した追加の調査結果を実施し、成果を報告する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第9回	内容	修士論文テーマの事前の図作業に関する発表と討論（1） データの収集方法について発表する。	第24回	内容	データの分析・考察に関する発表・討論（1） 調査結果の図化に関する討論をおこなう。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第10回	内容	修士論文テーマの事前の図作業に関する発表と討論（2） データのGIS化など、情報の整理をおこなう。	第25回	内容	データの分析・考察に関する発表・討論（2） 調査結果の図化に関する討論をおこなう。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第11回	内容	修士論文テーマの事前の図作業に関する発表と討論（3） GISなどをを用いた事前調査内容の発表をおこなう。	第26回	内容	図表の最終案の討論 修士論文に用いる図表を討論を経て完成させる。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第12回	内容	修士論文テーマの事前の図作業に関する発表と討論（4） GISなどをを用いた事前調査内容の発表をおこなう。	第27回	内容	修士論文のとりまとめ方針の報告 それまでの討論内容を踏まえて、とりまとめ方を検討する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第13回	内容	修士論文の調査内容の確認（1） それまでに得られた調査結果をふまえて、研究目的、調査方法、調査対象地域について発表し、問題点を整理する。	第28回	内容	修士論文のとりまとめの報告 修士論文のとりまとめ方について最終的に確定する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第14回	内容	修士論文の調査内容の確認（2） それまでに得られた調査結果を発表し、以後の調査での課題を整理する。	第29回	内容	修士論文の完成に向けての報告 それまでの討論内容を踏まえて、修士論文を完成させる。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし
第15回	内容	修士論文の調査内容の確認（3） それまでに作成した図表を整理し、その後作成すべき図表の内容を討論する。	第30回	内容	修士論文完成の報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）発表の準備 復習）討論内容の整理		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）内容の確認 復習）問題点の整理
	授業実施特記	とくになし		授業実施特記	とくになし

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週11R)通年	開講時限	火1
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071005400		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論実習 1					
英文授業名	Practical Training in Geography and Regional Studies 1					
担当教員	佐々木 明彦					

授業形態	講義、実験・実習・実技		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	学部授業の「空中写真判読」および「地理情報システム応用」レベルの知識とスキルは最低限必要である。	
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	防災地形学		

授業の概要・ねらい	災害の発生に関わる地形について流域地形発達史的観点から解説する。同時に、災害発生に関わる地形などの空中写真判読を行い、判読図をGISソフトを用いてオーバーレイ解析する。これらの講義・実習を通じて防災地形学のスキルを獲得し、流域の評価を行う手法を学ぶ。					
到達目標	空中写真の判読と詳細DEMによる地形判読などを通じて、流域や地域の土砂移動予測ができるようになる。					
教科書と準備するもの	資料を配付する。					
参考書	日本応用地質学会応用地形学研究小委員会編（2006）『応用地形セミナー 空中写真判読演習』古今書院 渡辺・鈴木（1999）『活断層地形判読』古今書院					
評価の基準	防災地形の概念を理解できているか、また実際に空中写真判読でその地形を抽出し、流域の評価ができる。					
具体的評価方法	講義内容と実習の成果物にもとづくレポートを評価の対象とする。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	実践で役立つスキルが身につくように具体的事例の解析を中心に授業・討論・実習作業をします。					
単位互換						
特記						

授業計画

第1回	内容	ガイダンス 1年間の授業の進め方を説明し、導入として空中写真判読の方法論について解説する。	第16回	内容	崖錐の形成① 崖錐の形成機構について学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）シラバスを読む。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）崖錐について調べておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第2回	内容	空中写真判読の基礎 空中写真の特徴や実体視の原理について学ぶ。	第17回	内容	崖錐の形成② 空中写真判読によって崖錐の見えかたを確認し、崖錐と地山からなる斜面との形態的な違いを理解する。また、判読結果をGISソフトを用いて図化する手法を学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）空中写真判読について調べておく。 復習）実体視の原理について復習し、実体視できるように練習する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第3回	内容	航空レーザー測量の方法 航空レーザー測量の方法論とデータの加工方法、利用方法について学ぶ。	第18回	内容	巨大崩壊地形① 日本における巨大崩壊の発生について学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）航空レーザー測量について調べておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）巨大崩壊について調べておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第4回	内容	山地の形成① 山地の形成メカニズムについて学ぶ。	第19回	内容	巨大崩壊地形② 巨大崩壊とそれによって発生した崩壊土砂による堆積地形を空中写真を用いて判読し、崩壊の発生場や堆積地形の地形的特徴を理解する。また、判読結果をGISソフトを用いて図化する手法を学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）山のでき方について調べる。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第5回	内容	山地の形成② 山地斜面の発達過程について学ぶ。	第20回	内容	地すべり地形① 地すべりの発生機構について学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）山地にみられる地形種について調べる。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）地すべりについて調べておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。

	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第6回	内容	山地の形成③ 山地斜面の空中写真判読を行い、地形種やそれらの発達過程について理解を深める。また判読結果をGISソフトを用いて図化する手法を学ぶ。	第21回	内容	地すべり地形② 地すべりの運動様式について学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）山地にみられる地形種について整理する。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第7回	内容	河谷斜面の形成① 河川の侵食・堆積作用について学ぶ。	第22回	内容	地すべり地形③ 地すべり地形の特徴について理解する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）河川的作用について調べる。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第8回	内容	河谷斜面の形成② 河川の谷壁斜面の遷急線に着目した斜面の分類方法を学ぶ。	第23回	内容	地すべり地形④ 地すべり地形の抽出を行う。また、判読結果をGISソフトを用いて図化する手法を学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）遷急線について調べておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第9回	内容	河谷斜面の形成③ 河川の谷壁斜面の遷急線に着目して斜面の分類を行い、河谷斜面の発達過程について理解を深める。また、判読結果をGISソフトを用いて図化する手法を学ぶ。	第24回	内容	二重山稜 重力変形によって山稜が陥没する現象を学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）谷壁斜面の分類方法を整理しておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第10回	内容	マスマーブメントによる地形形成 重力によって形成される地形の特徴について学ぶ。	第25回	内容	斜面をつくる岩盤のクリープ 二重山稜の形成と関連して斜面が膨らみ出す現象を学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）一般的な重力変形地形について調べておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第11回	内容	崩壊現象① 崩壊の発生機構を学ぶ。	第26回	内容	地すべり地形の危険度評価① 地すべり地形の活動兆候や不安定化要素に着目した危険度評価方法について学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）崩壊現象について調べておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第12回	内容	崩壊現象② 崩壊と斜面形成の関係について理解する。	第27回	内容	地すべり地形の危険度評価② 地すべりのポテンシャルに着目した危険度評価方法について学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）崩壊現象について整理しておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第13回	内容	土石流と沖積錐① 土石流の発生機構を学ぶ。	第28回	内容	流域の不安定土砂の総合評価① 様々な活動度の地すべり、深層崩壊、重力堆積地形が混在する流域の不安定土砂量やそれらの移動の可能性を評価する手法を学ぶ。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）土石流について調べておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第14回	内容	土石流と沖積錐② 土石流の発生域と滑走域、堆積域の地形的特徴について学ぶ。	第29回	内容	流域の不安定土砂の総合評価② 様々な活動度の地すべり、深層崩壊、重力堆積地形が混在する流域の不安定土砂量やそれらの移動の可能性を評価するための空中写真判読を行い、判読図を作成する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）沖積錐について調べておく。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された課題を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし
第15回	内容	土石流と沖積錐③ 土石流の発生域と滑走域、堆積域の地形について空中写真判読を行い、それら地形的特徴についての理解を深める。また、判読結果をGISソフトを用いて図化する手法を学ぶ。	第30回	内容	流域の不安定土砂の総合評価③ 様々な活動度の地すべり、深層崩壊、重力堆積地形が混在する流域の不安定土砂量やそれらの移動の可能性を、空中写真判読図をもとにGISソフトを用いてオーバーレイ解析して評価する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習）判読作業の準備をする。 復習）授業時間中では実施しきれずに残された図作業を実施する。
	授業実施特記	特になし		授業実施特記	特になし

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週137)通年	開講時限	月5
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071031900		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 5 I					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 5 I					
担当教員	長谷川 均					

授業形態	演習		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	自然地理のフィールドワーク		

授業の概要・ねらい	一年を通してフィールドワークに関係する外国語の論文、もしくは単行本を輪読し、翻訳作業を行う。対象とする論文や単行本は、フィールドワークをもとにして作成されたものとし、多くのフィールドワークの実践例やそれらをもとにした論文やレポートの組み立て方、実践的な作成方法を学ぶことが目的である。また、休暇や週末を利用して実施する野外調査に関する計画や実践、まとめに関する議論もおこなう。科学的な意図と手続きに基づく調査法、地域や国ごとの事情に応じた地域調査の実態を学び、自身の調査に反映させるレベルに到達することが目標となる。 輪読の他に、論文等の内容に関連する講義を数回ごとに行い理解を深める。輪読は受講生の人数に応じて分量などの配分を決める。輪読者には教員も含めて順番を決める。講義の内容は、選定した図書に応じて内容を変更するため、授業計画には詳細は記載しない。輪読の内容をもとし、週末等を利用した野外調査や地域調査を実施する。 23回以降の講義では、担当者、学生がそれぞれ現在進めているフィールドワークや作成過程にある論文、レポート持ち寄り、それらを組上にあげて討論する。
到達目標	教科書一冊の翻訳
教科書と準備するもの	例として、下記の二冊をあげるが前述の通り受講生の要望、専門分野により変更する ① Millennial Landscape Change in Jordan または、 ② Remote Sensing Handbook for Tropical Coastal Management
参考書	必要に応じて指示する。
評価の基準	発表内容（平常点）と翻訳の完成度（数回のレポート）によって評価する。
具体的評価方法	平常点50%、レポート点50%
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	前年度に実施された授業評価アンケート結果を反映した講義を実施します。 マナバで授業資料を発信しますので、予習に活用してください。資料は2週間で消去します。紙で配付してほしいという意見もありますが、ここにアクセスしたり資料をダウンロードすることもICT活用、ICTに関わるスキルの向上につながります。また、Webサイトで公開される最新の研究成果を紹介できますのでマナバを活用します。
単位互換	
特記	特に無し

授業計画

第1回	内容	輪読図書の選定など	第16回	内容	講義 ※地域調査に関連する資料収集に関して
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第2回	内容	輪読 1	第17回	内容	輪読 1 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第3回	内容	輪読 2	第18回	内容	輪読 1 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第4回	内容	輪読 3	第19回	内容	輪読 1 3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第5回	内容	講義	第20回	内容	講義 ※自分で収集した、地域調査に関連する資料の紹介
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	

第6回	内容	輪読 4	第21回	内容	輪読 1 4
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第7回	内容	輪読 5	第22回	内容	輪読 1 5
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第8回	内容	輪読 6	第23回	内容	地域調査事例研究 1 計画
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第9回	内容	講義	第24回	内容	地域調査事例研究 2 計画
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第10回	内容	輪読 7	第25回	内容	地域調査事例研究 3 計画の検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第11回	内容	輪読 8	第26回	内容	地域調査事例研究 4 調査の実務
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第12回	内容	輪読 9	第27回	内容	地域調査事例研究 5 調査の実務
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第13回	内容	講義	第28回	内容	地域調査事例研究 6 調査結果のまとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第14回	内容	輪読 1 0	第29回	内容	地域調査事例研究 7 分析
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第15回	内容	講義 夏期休暇中の野外調査計画	第30回	内容	地域調査事例研究 8 報告書の作成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	月4
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071032000		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 5 II					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 5 II					
担当教員	長谷川 均					

授業形態	演習		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	地理・地域論演習 5 I	
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	地域調査, 地域の研究		

授業の概要・ねらい	修士課程2年の学生を対象として、特定の課題を設定し研究計画から論文執筆までの過程を実践的に学ぶ。必要に応じて現地での調査指導を行う。					
到達目標	学会誌投稿論文の執筆					
教科書と準備するもの	特に定めないが、必要に応じて指定する。					
参考書	発表、討論の内容、研究成果の内容で評価する。					
評価の基準	積極的な授業態度と発表の内容、準備状況で評価する。					
具体的評価方法	発表内容、発表資料で70%、他の学生、教員との討論内容で30%の評価を行う。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	前年度に実施された授業評価アンケート結果を反映した講義を実施します。 マナバで授業資料を発信しますので、予習に活用してください。資料は2週間で消去します。紙で配付してほしいという意見もありますが、ここにアクセスしたり資料をダウンロードすることもICT活用、ICTに関わるスキルの向上につながります。また、Webサイトで公開される最新の研究成果を紹介できますのでマナバを活用します。					
単位互換						
特記	特に無し					

授業計画

第1回	内容	テーマの選定	第16回	内容	現地調査結果のまとめと報告 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第2回	内容	情報収集方法の検討	第17回	内容	現地調査結果のまとめと報告 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第3回	内容	先行研究の分類 1	第18回	内容	現地調査結果のまとめと報告 3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第4回	内容	先行研究の分類 2	第19回	内容	国土空間情報を使った解析 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第5回	内容	調査研究地域の選定 1	第20回	内容	国土空間情報を使った解析 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第6回	内容	調査研究地域の選定 2	第21回	内容	国土空間情報を使った解析 3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第7回	内容	空間情報の収集	第22回	内容	国勢調査、都市計画基礎調査のデータ解析 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	

第8回	内容	収集資料の整理 1	第23回	内容	国勢調査、都市計画基礎調査のデータ解析 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第9回	内容	収集資料の整理 2	第24回	内容	収集した資料の整理と確認
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第10回	内容	研究史の作成 1	第25回	内容	論文の構成に関する検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第11回	内容	研究史の作成 2	第26回	内容	とりまとめ方法の検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第12回	内容	研究課題の確定	第27回	内容	現地調査（追加調査）で実施すべき項目の検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第13回	内容	対象地域に関するGIS情報の整理	第28回	内容	GISを使った図の作成の関する検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第14回	内容	GISを使った事前調査	第29回	内容	とりまとめ方法の確定
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第15回	内容	GISを使った解析 （夏期休暇中に現地調査を実施する）	第30回	内容	とりまとめと報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	レポート作成
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	集中	開講時限	集中
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071005500		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論実習 2					
英文授業名	Practical Training in Geography and Regional Studies 2					
担当教員	長谷川 均					

授業形態	実験・実習・実技		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	学部の環境リモートセンシング応用および地理情報システム応用のスキルは必須。	
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	リモートセンシング, 地理情報システム		

授業の概要・ねらい	GISとRSの基礎と応用に関する講義をおこなう。その後、これらを使った環境評価および環境変化の抽出に関する実習をおこなう。受講生は学部段階でGISの基礎的な訓練を受けた者を対象とする。また、地図学や地理調査法に関する一般的な知識を持っていることを前提に講義と実習を進める。使用するデータは、国土地理院が提供するGISデータの他に、民間会社が運用する高解像衛星データ、合成開口データも対象とする。またGISデータなどに関しては、既存のもの他、受講生自身が入手、作成したUAVのデータ等とする。実習では各自でPCを使うので、これらのオペレーションの知識もあらかじめ必要である。					
到達目標	観察能力を養い、独自の調査ができる技量を身につけること。					
教科書と準備するもの	① 自然環境解析のためのリモートセンシング・GISハンドブック,古今書院 ② ArcGIS for Desktop 逆引きガイド 10.1 & 10.2 対応, ESRI ジャパン ③ QGISの基本と防災活用, 古今書院					
参考書	特に指定するものはない。					
評価の基準	発表、討論の内容、実習の成果物によって評価する。					
具体的評価方法	講義時の平常点30%、実習の成果物の完成度70%で評価する。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	前年度に実施された授業評価アンケート結果を反映した講義を実施します。 マナバで授業資料を発信しますので、予習に活用してください。資料は2週間で消去します。紙で配付してほしいという意見もありますが、ここにアクセスしたり資料をダウンロードすることもICT活用、ICTに関わるスキルの向上につながります。また、Webサイトで公開される最新の研究成果を紹介できますのでマナバを活用します。					
単位互換						
特記	特に無し					

授業計画

第1回	内容	初回に受講生と綿密な打ち合わせをおこない、テーマ、内容などを詰めることにしたい。それ以降にスケジュールを立て、実践的な内容の授業を試みたい。	第16回	内容	GPS, DGPSの実習（1）校地周辺
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第2回	内容	GISとGNSSの連携 1（GNSSのしくみ）	第17回	内容	GPS, DGPSの実習（2）校地周辺
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第3回	内容	GISとGNSSの連携 2（GNSSのしくみ）	第18回	内容	GISソフトとGPSの実習、DGPSの連携
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第4回	内容	GISソフトとGPS、GNSSの連携	第19回	内容	GIS,RSのグランドトゥールース（1）都市域での実習
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第5回	内容	G I Sによる自然環境の解析（1）教科書を使用	第20回	内容	GIS,RSのグランドトゥールース（2）都市周辺域での実習
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第6回	内容	G I Sによる自然環境の解析（2）教科書を使用	第21回	内容	フィールドスベックを使った分光反射測定 理

					論編
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第7回	内容	G I Sによる自然環境の解析（3）教科書を使用	第22回	内容	フィールドスベックを使った分光反射測定 実習（野外実習 校地周辺）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第8回	内容	利用できるGISデータ1 国土地理院のデータを使用	第23回	内容	分光測定結果のRSデータへの適用
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第9回	内容	利用できるGISデータ2 国土地理院のデータを使	第24回	内容	UAV(無人飛行機)による空間情報の収集（1）理論，法令
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第10回	内容	利用できる社会環境系データ 自治体等のデータを使用	第25回	内容	UAV(無人飛行機)による空間情報の収集（2）航空測量ソフト
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第11回	内容	利用できる自然環境系データ 自治体等のデータを使用	第26回	内容	UAV(無人飛行機)による空間情報の収集（3）運用実習（三浦半島周辺）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第12回	内容	フィールドワークとGISデータ解析の連携（1）受講生の研究テーマを使用	第27回	内容	UAV(無人飛行機)による空間情報の収集（4）運用実習（三浦半島周辺）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第13回	内容	フィールドワークとGISデータ解析の連携（2）受講生の研究テーマを使用	第28回	内容	UAV(無人飛行機)による空間情報の収集（5）3Dモデルの作成と大縮尺地形図の作成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第14回	内容	フィールドワークとRSデータ解析の連携（1）高解像RSデータ、ハイパスベックRSデータと解析	第29回	内容	UAV(無人飛行機)による空間情報の収集（6）3Dモデルの作成と大縮尺地形図の作成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	
第15回	内容	フィールドワークとRSデータ解析の連携（2）合成開口レーダーを使った都市と周辺域の画像解析	第30回	内容	まとめ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施		授業時間外における学修（予習・復習等）	プリントの復習 授業時間中では実施しきれずに残された課題の実施
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週137)通年	開講時限	木3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071032100		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 6 I					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 6 I					
担当教員	磯谷 達宏					

授業形態	演習		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業	地理・地域論研究 3 地理・地域論実習 2 環境論		
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業	地理・地域論演習 6 II	
教職課程科目			
テーマ・キーワード	植生 人間－生態環境関係 研究史 展望 研究方法 野外地域調査		

授業の概要・ねらい	修士課程1年の学生を対象としたこの演習授業では、生態系の基盤をなす植生をおもな題材として、人間－生態環境関係の研究史と今後の展望および研究方法についての演習を行う。具体的な内容は、既存の諸研究の概観、野外調査を主体とした地域調査の方法とデータ解析法、および論文の書き方などである。受講生による修士論文の作成に向けた野外地域調査の計画とその結果のとりまとめ方に関する演習も適宜、行う。受講生には、これらの課題に積極的に取り組むことを通して、生態環境に関する地理学的研究の力を身につけてもらいたい。					
到達目標	人間－生態環境関係の研究史と今後の展望および研究方法について理解し、関連知識を蓄積すること。					
教科書と準備するもの	特定の教科書は用いない。					
参考書	その都度指示する。					
評価の基準	人間－生態環境関係の研究史と今後の展望および研究方法に関する理解と知識の蓄積がどこまで進んだかを評価する。					
具体的評価方法	授業中の発言内容（20％）と課題に対する発表の内容（80％）により評価する。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	地理学的な研究方法について、受講者の興味に応じてしっかりと修得しよう。					
単位互換						
特記	なし					

授業計画

第1回	内容	修士論文構想（1） 修士論文の構想の仕方と野外地域調査等の進め方についてのディスカッション	第16回	内容	修士論文中間報告（1） 受講生による修士論文の経過（野外地域調査の結果を含む）の発表と質疑応答
	授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文の構想をとりまとめて発表し、授業でのディスカッションにもとづき構想について再検討する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文の進展状況について発表し、授業でのディスカッションにもとづき構想について再検討する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第2回	内容	生態環境研究法（1） 文献探索の方法と主要文献の紹介	第17回	内容	生態環境研究法（11） リモート・センシング・データの活用方法：その1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	紹介した主要文献を読破すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第3回	内容	文献研究（1） 受講生による修士論文作成のための文献研究結果の発表と質疑応答	第18回	内容	生態環境研究法（12） リモート・センシング・データの活用方法：その2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献をよく読んで発表の準備を行うこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第4回	内容	生態環境研究法（2） リモート・センシング・データ活用法の導入 GIS活用法の導入	第19回	内容	文献研究（3） 受講生による修士論文作成のための文献研究結果の発表と質疑応答
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献をよく読んで発表の準備を行うこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第5回	内容	修士論文構想（2） 受講生による修士論文構想（野外地域調査の計画を含む）の発表と質疑応答	第20回	内容	生態環境研究法（13） GISの活用方法：その1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文の構想について、野外での地域調査計画に重点をおいてとりまとめた結果を発表し、授業でのディスカッションにもとづ		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関

	習等)	き構想について再検討する。		習等)	して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第6回	内容	生態環境研究法（3） 野外調査法：その1 野外地域調査の心得、植生調査法	第21回	内容	生態環境研究法（14） GISの活用方法：その2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第7回	内容	生態環境研究法（4） 野外調査法：その2 植生データ解析法	第22回	内容	生態環境研究法（15） GISの活用方法：その3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第8回	内容	生態環境研究法（5） 野外調査法：その3 動物生態地理と土壌地理における調査・分析・解析の方法	第23回	内容	文献研究（4） 受講生による修士論文作成のための文献研究結果の発表と質疑応答
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献をよく読んで発表の準備を行うこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第9回	内容	生態環境研究法（6） 野外調査法：その4 地形に着目した立地環境調査法	第24回	内容	生態環境研究法（16） 気候・水文データの分析方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第10回	内容	文献研究（2） 受講生による修士論文作成のための文献研究結果の発表と質疑応答	第25回	内容	生態環境研究法（17） 地形・地質情報の分析方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献をよく読んで発表の準備を行うこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第11回	内容	生態環境研究法（7） 統計解析法：その1 生態環境研究における統計の基礎	第26回	内容	生態環境研究法（18） 人為情報の分析方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第12回	内容	生態環境研究法（8） 統計解析法：その2 データ群間の比較	第27回	内容	文献研究（5） 受講生による修士論文作成のための文献研究結果の発表と質疑応答
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献をよく読んで発表の準備を行うこと。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第13回	内容	生態環境研究法（9） 統計解析法：その3 多変量解析	第28回	内容	生態環境研究法（19） 論文作成法：その1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	論文作成方法について授業内容をもとに復習する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第14回	内容	生態環境研究法（10） 統計解析法：その4 回帰分析、クラスター分析、決定木分析	第29回	内容	生態環境研究法（20） 論文作成法：その2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	関連文献を予習して授業に参加したのち、新たに習得した方法について自らの研究テーマに関して適用するほか、さらに指示された文献を読破する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	論文作成方法について授業内容をもとに復習する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第15回	内容	修士論文構想（3） 受講生による修士論文作成のための地域調査計画の発表と質疑応答	第30回	内容	修士論文中間報告（2） 受講生による修士論文の経過（野外地域調査の結果を含む）の発表と質疑応答
	授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文の構想について、地域調査計画に重点を置いてとりまとめた結果を発表し、授業でのディスカッションにもとづき構想について再検討する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文の進展状況について発表し、授業でのディスカッションにもとづき構想について再検討する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	木6
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071032200		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論演習 6 II					
英文授業名	Seminar on Geography and Regional Studies 6 II					
担当教員	磯谷 達宏					

授業形態	演習			
	e-learning利用		その他：	
担当形態	単独			
関連する授業				
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目	地理・地域論演習 6 I 地理・地域論研究 3 地理・地域論実習 2 環境論		
	後続関連授業			
教職課程科目				
テーマ・キーワード	人間－生態環境関係 研究計画 論文作成			

授業の概要・ねらい	修士課程2年の学生を対象として、人間－生態環境関係に関する特定の課題を設定して研究計画から論文作成までの過程を実践的に学ぶ。					
到達目標	研究計画から論文作成に至る過程を正しく理解してそれを実行できるようになること。					
教科書と準備するもの	特定の教科書は用いない。					
参考書	受講者の研究内容や関連分野の理解の程度に応じてその都度指示する。					
評価の基準	研究計画から論文作成に至る過程が正しく理解できてそれを実行できるか否か。					
具体的評価方法	主に発表・討論の内容により評価する。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	地理学的な研究方法について、受講者の興味に応じてしっかりと修得しよう。					
単位互換						
特記	なし					

授業計画

第1回	内容	テーマの選定	第16回	内容	現地調査結果のまとめと報告 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	テーマの検討		授業時間外における学修（予習・復習等）	それまでに得られた現地調査結果について一通りとりまとめ、発表の準備を行う。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第2回	内容	情報収集方法の検討	第17回	内容	現地調査結果のまとめと報告 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究に関する情報を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	それまでに得られた現地調査結果について一通りとりまとめ、発表の準備を行う。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第3回	内容	先行研究の分類 1	第18回	内容	現地調査結果のまとめと報告 3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究に関する情報を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	それまでに得られた現地調査結果について一通りとりまとめ、発表の準備を行う。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第4回	内容	先行研究の分類 2	第19回	内容	国土空間情報を使った解析 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究に関する情報を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究に関する国土空間情報のデータ収集を行う。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第5回	内容	調査研究地域の選定 1	第20回	内容	国土空間情報を使った解析 2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究地域に関する情報を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究に関する国土空間情報のデータを用いた分析を進展させる。
	授業実施特記			授業実施特記	なし
第6回	内容	調査研究地域の選定 2	第21回	内容	国土空間情報を使った解析 3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究地域に関する情報を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究に関する国土空間情報のデータを用いた解析を行う。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第7回	内容	空間情報の収集 1（生物・人為）	第22回	内容	国勢調査・都市計画基礎調査のデータ解析 1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究地域の空間情報を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究に関する国勢調査・都市計画基礎調査データの収集と分析を行う。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第8回	内容	空間情報の収集 2（気候）	第23回	内容	国勢調査・都市計画基礎調査のデータ解析 2

	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究地域の空間情報を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究に関する国勢調査・都市計画基礎調査データの解析を行う。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第9回	内容	空間情報の収集3（地形・地質・土壌）	第24回	内容	収集した資料の整理と確認
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究地域の空間情報を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文作成のために収集した各種資料を一通り整理して提示し、今後の方針に関する指導を受けて対応する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第10回	内容	研究史の作成1	第25回	内容	論文の構成に関する検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究テーマの研究史を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文の論文構成を熟考して提示し、指導結果に応じて再検討を加える。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第11回	内容	研究史の作成2	第26回	内容	とりまとめ方法の検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究テーマの研究史を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文のとりまとめ方について熟考して提示し、指導結果に応じて再検討を加える。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第12回	内容	研究課題の確定	第27回	内容	現地調査（追加調査）で実施すべき項目の検討 図表リストの検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予備調査の結果にもとづき、修士論文のテーマ・目的・方法・調査地域等を確定する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	上記の各項目について検討して提示し、指導結果に応じて再検討を加える。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第13回	内容	対象地域に関するGIS情報の整理	第28回	内容	GISを使った図の作成に関する検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究地域のGIS情報を整理して提示すること。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	上記について検討して提示し、指導結果に応じて再検討を加える。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第14回	内容	GISを使った事前調査	第29回	内容	とりまとめ方法の確定
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究地域においてGISを用いた分析を進展させる。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文のとりまとめ方について再び熟考して提示し、指導結果に応じて再検討を加えて内容を確定させる。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第15回	内容	GISを使った解析	第30回	内容	とりまとめと報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	自らの研究地域においてGISを用いたデータ解析を行う。授業後は授業内容に応じて自らの研究を進展させること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	修士論文の内容についての最終的なとりまとめを行い、それについての発表準備を行う。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	水1
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071002900		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論研究 3					
英文授業名	Research in Geography and Regional Studies 3					
担当教員	磯谷 達宏					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業	地理・地域論演習 1 ～（Ⅰ） 地理・地域論実習 2 環境論		
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業	地理・地域論演習 1 ～（Ⅱ）	
教職課程科目			
テーマ・キーワード	人間－生態環境関係 植生 GIS 生態環境計画論		

授業の概要・ねらい	この授業では、動植物や土壌などで構成されている人間をとりまく生態環境について、その基盤をなす植生を中心にとりあつかう。すなわち、植生を中心とした生態環境および人間－生態環境関係について地理学的な視点を軸に概説するほか、現地調査法やGIS活用方法を含む研究方法についても講義する。さらに、これらの知識の応用、すなわち生態環境の計画論についても講ずる。授業は、受講生が生態環境についてのある程度の基礎知識を習得済みであることを前提として進めていく。					
到達目標	植生を中心とした生態環境について地理学的な視点を軸に理解すること。					
教科書と準備するもの	<参考書> ・ランドスケープエコロジー（武内和彦著、朝倉書店） ・景観生態学（モニカ G.ターナーほか著、文一総合出版） ・図説日本の植生 第2版（福岡・岩瀬編、朝倉書店） ・植生管理学（福岡 司編、朝倉書店） ・GISによる生物多様性と景観プランニング（カール・スタイニッツほか著、地人書房）					
参考書	その都度指示する。					
評価の基準	植生を中心とした生態環境について地理学的な視点を軸に理解できているか否か。					
具体的評価方法	主にレポートによる。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	生態地理学的な研究方法について、受講者の興味に応じてしっかりと修得しよう。					
単位互換						
特記	なし					

授業計画

第1回	内容	生態環境とは何か？	第16回	内容	生態環境の研究手法（1） 生態環境のさまざまな調査・研究方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	受講内容を復習するほか、紹介する関連図書を探索して読むこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第2回	内容	人間にとっての生態環境の意義	第17回	内容	生態環境の研究手法（2） 現地調査による調査・解析方法：その1 植生調査におけるサンプリング方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	受講内容を復習するほか、紹介する関連図書を読むこと。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第3回	内容	生態環境の概要（1） 生態環境の総合性 緑地環境とは何か？	第18回	内容	生態環境の研究手法（3） 現地調査による調査・解析方法：その2 さまざまな植生調査の方法（植物社会学的 方法）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第4回	内容	生態環境の概要（2） 生態系とは何か、ランドスケープとは何か？ 植生とは何か？	第19回	内容	生態環境の研究手法（4） 現地調査による調査・解析方法：その3 さまざまな植生調査の方法（固定枠を用いた方法）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第5回	内容	生態環境の概要（3） 世界の植生帯	第20回	内容	生態環境の研究手法（5） 現地調査による調査・解析方法：その4

					動物生態地理の調査・解析方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第6回	内容	生態環境の概要（４） 日本の植生：その１（植生帯論）	第21回	内容	生態環境の研究手法（６） 現地調査による調査・解析方法：その５ 土壌地理の調査・分析方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第7回	内容	生態環境の概要（５） 日本の植生：その２（照葉樹林帯）	第22回	内容	生態環境の研究手法（７） 地理情報を用いた調査・解析方法：その１ リモート・センシング・データの活用方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第8回	内容	生態環境の概要（６） 日本の植生：その３（夏緑広葉樹林帯）	第23回	内容	生態環境の研究手法（８） 地理情報を用いた調査・解析方法：その２ GISの活用方法１（植生）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第9回	内容	生態環境の概要（７） 日本の植生：その４（針葉樹林帯と高山帯）	第24回	内容	生態環境の研究手法（９） 地理情報を用いた調査・解析方法：その３ GISの活用方法２（動物）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第10回	内容	生態環境の概要（８） 日本の植生：その５（自然草原と二次草原）	第25回	内容	生態環境の研究手法（10） 地理情報を用いた調査・解析方法：その４ GISの活用方法３（土壌）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第11回	内容	生態環境の概要（９） 植生の保護・利用と植生管理	第26回	内容	生態環境の研究手法（11） 地理情報を用いた調査・解析方法：その５ GISの活用方法４（景観生態学の概要）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第12回	内容	生態環境の概要（10） 人間にとっての環境としての動物 哺乳類の生態地理	第27回	内容	生態環境の研究手法（12） 地理情報を用いた調査・解析方法：その６ GISの活用方法５（景観生態学的研究の諸事例）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第13回	内容	生態環境の概要（11） 鳥類・昆虫類の生態地理	第28回	内容	生態環境の計画論（１） 生態環境計画の策定方法：その１ アメニティーを重視した策定方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第14回	内容	生態環境の概要（12） 土壌環境の重要性	第29回	内容	生態環境の計画論（２） 生態環境計画の考え方：その２ 生物多様性の保全を重視した策定方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし
第15回	内容	生態環境の概要（13） 世界の土壌・日本の土壌	第30回	内容	生態環境の計画論（３） GISを用いた生態環境計画の諸事例
	授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。		授業時間外における学修（予習・復習等）	教科書の予習と受講内容の復習および関連文献の探査と読破。 それまでの講義で学んだ内容を要約したレポートを作成する。
	授業実施特記	なし		授業実施特記	なし

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週1回)通年	開講時限	金2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071005200		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論特論 2					
英文授業名	Special Studies in Geography ant Regional Studies 2					
担当教員	中川 秀一					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	農村とは何か 農村空間・地域問題・日英比較		

授業の概要・ねらい	農村とは何か。自明のように現代の農村の学術的な定義は必ずしも容易ではない。しかし、都市と農村とは、人類が作り出してきた定住形態として人々の思考や生活、さらには制度の基盤となってきた概念である。世界的に人口が増大してきた20世紀は、都市の時代とも呼ばれる。一方、21世紀の日本は縮小過程に入り、やがて世界人口も定常化すると推測されている。都市とは異なる生活様式のあり方の価値を考えることが重要になってきている。本講義では、「農村」について、イギリスにおける研究書を手引きとして再考することによってこのテーマを考えてみたい。後半部では、人口減少による縮小社会へと転じた日本の国土周辺地域の置かれている状況変化と地域からのその対応について考える。「地方消滅」や限界集落の考え方を検証し、地域再生、田園回帰、創造農村などの議論を照らし合わせながら講義を進める。文献演習を主としつつ、統計資料の分析の演習を交える。					
到達目標	20世紀の価値規範としての「都市」を相対化すべく、「農村」の価値とは何かを対置し、参照して考察する視座を獲得する。					
教科書と準備するもの	高柳長直・中川秀一監訳『ルーラル：農村とは何か』農林統計,2018年。 中川秀一「農村空間の商品化と『田園回帰』」地理(63)6					
参考書	講義中に提示する。まずは次のもの。 小田切徳美・橋口卓也（2018）『内発的農村発展論』農林統計出版。 経済地理学会編（2018）『キーワードで読む経済地理学』原書房。 広井良典（2015）『ポスト資本主義』岩波書店。 岡本雅美監修（2014）『自立と連携の農村再生論』東京大学出版会。 坪井伸広他編（2009）『現代のむら』農文協。					
評価の基準	講義への取り組みの積極性（80％）、問題意識の深まり（60％）。					
具体的評価方法	講義での報告およびディスカッションを通じて把握し（60％）、成果として提出されたレポートを参照する（40％）。					
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	受講生の思考の展開を扶けることができるように進めたいと思っています。正しいか、間違っているかではなく、どう考えているか、どうしてそう考えるのかを、言葉にしていけることが大切だと考えます。急がず、しかし積極的に取り組んで欲しいと願っています。					
単位互換						
特記						

授業計画

第1回	内容	オリエンテーション 講義の課題についての解題	第16回	内容	後半部の議論の課題と解題
	授業時間外における学修（予習・復習等）	本シラバスを読み、ポスト資本主義とは何か、情報を集め、整理しておく（予習120分、復習60分）。		授業時間外における学修（予習・復習等）	日本の農村や地方をめぐる政策や議論について、「地方創生」を中心として意見交換をするための準備（予習120分、復習60分）。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第2回	内容	「ポスト資本主義」論を読む	第17回	内容	「地方消滅」論を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	広井良典『ポスト資本主義』を踏まえて議論できるように準備する（予習120分、復習60分）。		授業時間外における学修（予習・復習等）	増田寛也氏を中心とする「地方消滅」論について調べ、整理しておく（予習120分、復習60分）。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第3回	内容	「ポスト資本主義」論の課題を検討	第18回	内容	「地方消滅」論のその後の経過
	授業時間外における学修（予習・復習等）	広井良典『ポスト資本主義』に関する議論を踏まえ、各自の課題について報告を準備する（予習120分、復習60分）。		授業時間外における学修（予習・復習等）	地方創生政策をはじめ、地方消滅論によってどのような変化が起きたか、具体的な例をあげて説明できるように準備（予習120分、復習60分）。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第4回	内容	「ルーラル：農村とは何か」を読む 「ルーラル：農村とは何か」を解題し、本稿食いで取り上げる意味を説明する。	第19回	内容	「限界集落」論を読む
	授業時間外における学修（予習・復習等）	刊行予定である「ルーラル」の導入部を精読し、また全体を通読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	地方消滅論以前の、日本の農村、とりわけ国土周辺に位置する地域の存続に関する議論として、「限界集落論」とその背景について整理しておく（予習120分、復習60分）。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第5回	内容	農村へのアプローチ	第20回	内容	人口動向についての統計分析を踏まえた演習1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	第一章を議論できるように精読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	地方消滅論や限界集落論は人口減少によって、

	る学修（予習・復習等）	分）		る学修（予習・復習等）	地方自治体や地域社会が消滅することを予測している。こうした予測について、具体的な数値に基づいて、様々な観点から検討し、その結果を報告できるように準備（予習120分、復習60分）。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第6回	内容	農村のイメージ	第21回	内容	人口動向についての統計分析を踏まえた演習2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	第二章を議論できるように精読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	先回の講義における議論を踏まえ、さらに検討し報告する準備（予習120分、復習60分）。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第7回	内容	農村の開発	第22回	内容	国土政策の動向の検討
	授業時間外における学修（予習・復習等）	第三章を議論できるように精読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	農村もしくは国土周辺の地域の人口動向を踏まえたうえで、国土政策が現在どのような状況にあるかを確かめ議論する準備（予習120分、復習60分）。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第8回	内容	農村の消費	第23回	内容	「地域再生」論を読む1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	第四章を議論できるように精読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	岡本雅美監修『自立と連携の農村再生論』を通読し、様々な議論の方向性を確認しておく（予習120分、復習60分）
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第9回	内容	農村の発展	第24回	内容	「地域再生」論を読む2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	第五章を議論できるように精読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	岡本監修の中から最も関心ある章について報告する準備（予習120分、復習60分）
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第10回	内容	農村の暮らし	第25回	内容	「内発的発展論」を読む1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	第六章を議論できるように精読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	小田切徳美・橋口卓也編『内発的農村発展論』を通読する（予習120分、復習60分）
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第11回	内容	農村の演技	第26回	内容	「内発的農村発展論」を読む2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	第七章を議論できるように精読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	小田切・橋口編について、どのような「農村」の枠組みに基づいて考察されているかを、前半部の『ルール』を踏まえて考察し、報告する準備（予習120分、復習60分）
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第12回	内容	農村の政策	第27回	内容	人口動向についての統計分析を踏まえた演習3
	授業時間外における学修（予習・復習等）	第八章を議論できるように精読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	地方や農村への人口回帰現象を念頭に、地域間の人口移動について、統計資料に基づいて検討、報告する準備（予習120分、復習60分）
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第13回	内容	農村の再構築	第28回	内容	「日本のむら」論を読む1
	授業時間外における学修（予習・復習等）	第九章を議論できるように精読しておく（予習120分、復習60分）		授業時間外における学修（予習・復習等）	坪井伸広編『現代のむら』を通読し、日本における農村の概念と実態について整理しておく（予習120分、復習60分）
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第14回	内容	日本農村についての議論	第29回	内容	「日本のむら」論を読む2
	授業時間外における学修（予習・復習等）	ここまでの講義内容を踏まえ、日本における農村の状況について考察する際の視座について概説する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	坪井伸広編について、事例を取り上げているひとつの章を取り上げ精読する。そのうえで取り上げられた事例に関する情報を集めて検証を試みる報告の準備（予習120分、復習60分）
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第15回	内容	最終報告	第30回	内容	最終報告
	授業時間外における学修（予習・復習等）	各自の設定したテーマ設定にしたがい、最終レポート報告のための準備（予習240分）。		授業時間外における学修（予習・復習等）	日本農村の現状について、『ルール』の視点を取り入れながら検討する最終報告を行う（予習240分）
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し

Syllabus

クリックして表示・非表示切り替え

概要

対象年度	年度	2020	期	(週13?)通年	開講時限	水1
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071005300		科目ナンバー			
授業名	地理・地域論特論 3					
英文授業名	Special Studies in Geography ant Regional Studies 3					
担当教員	鈴木 毅彦					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業	なし。		
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	火山灰編年学から地形学、第四紀学、火山学、考古学、火山防災を考える		

授業の概要・ねらい	火山噴火史とともに火山灰編年学の実践を学ぶことを目標とします。火山灰編年学の基礎をはじめとして、地形学、第四紀学、火山学、考古学、火山防災等の各分野で火山灰編年学がどの様に利用されているかを理解してもらいます。また、その基礎的な手法を会得するために、室内にて何回かの作業を行います。主に講義形式で授業を行います。実習やビデオを用いた授業も行います。さらに受講者の人数や時間等の調整がつけば、野外にて火山灰の観察を行います。
到達目標	地形学、第四紀学、火山学、考古学、火山防災等の各分野で火山灰編年学がどの様に利用されているかを理解すること。
教科書と準備するもの	教科書は定めません。授業中にプリントを配付します。
参考書	参考書として以下を指定します。 「デジタルブック最新第四紀学」、日本第四紀学会50周年電子出版編集委員会編、日本第四紀学会。 「防災・減災につなげるハザードマップの活かし方」鈴木康弘編、岩波書店。
評価の基準	講義内容の理解度。
具体的評価方法	授業期間中に行なう簡単な作業、レポート、討論内容に基づき評価します。
授業評価アンケート フィードバック・ 受講生へメッセージ	受講生の意見を汲み取ってよりわかりやすい授業にしたいと思いますので、授業では積極的に意見を表明してください。
単位互換	
特記	

授業計画

第1回	内容	講義の概要・目的・進め方の説明と参考書の紹介	第16回	内容	火山灰を用いた山地と盆地の地形発達
	授業時間外における学修（予習・復習等）	とくになし。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第2回	内容	火山の爆発的噴火とそれがもたらす火山灰：その1 ハワイ式噴火とストロンボリ式噴火ー富士山・伊豆大島を例にー	第17回	内容	火山噴火と地形災害
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第3回	内容	火山の爆発的噴火とそれがもたらす火山灰：その2 ブルカノ式噴火ー桜島火山・浅間火山などを例にー	第18回	内容	火山灰の記載と分析の考え方：野外編
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	地図帳を持参		授業実施特記	特に無し
第4回	内容	火山の爆発的噴火とそれがもたらす火山灰：その3 プリニー式噴火と降下テフラー箱根、赤城火山などを例にー	第19回	内容	火山灰の記載と分析の考え方：室内編
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	地図帳を持参		授業実施特記	特に無し
第5回	内容	火山の爆発的噴火とそれがもたらす火山灰：その4 小規模な火砕流	第20回	内容	室内における火山灰の観察：その1 火山灰の洗浄方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第6回	内容	火山の爆発的噴火とそれがもたらす火山灰：その5 大規模な火砕流とカルデラ火山	第21回	内容	室内における火山灰の観察：その2 実体顕微鏡による鉱物の観察方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。

	習等)			習等)	
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第7回	内容	火山灰から編む火山噴火史	第22回	内容	室内における火山灰の観察：その3 火山灰の各種分析方法
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し
第8回	内容	火山灰を用いた地形の編年：その1 関東平野の台地と低地	第23回	内容	火山地形：成層火山の形成と山体崩壊
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。自身の居住地の地形を確認する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	地図帳を持参		授業実施特記	特に無し
第9回	内容	火山灰を用いた地形の編年：その2 関東平野の丘陵地形	第24回	内容	火山灰から編む火山噴火史：その1 日本各地の成層火山
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	地図帳を持参		授業実施特記	特に無し
第10回	内容	火山灰を用いた地形の編年：その3 立川断層帯の変位地形	第25回	内容	火山灰から編む火山噴火史：その2 富士火山と箱根火山
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	地図帳を持参		授業実施特記	地図帳を持参
第11回	内容	火山灰を用いた地形の編年：その4 氷期・間氷期サイクルと日本列島の海成段丘	第26回	内容	火山灰から編む火山噴火史：その3 日本列島各地のカルデラ火山
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	地図帳を持参		授業実施特記	地図帳を持参
第12回	内容	火山灰を用いた地形の編年：その5 氷期・間氷期サイクルと日本列島の河成段丘	第27回	内容	火山灰と考古学：自然災害と考古学
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	地図帳を持参		授業実施特記	特に無し
第13回	内容	火山灰を用いた堆積物の編年：その1 関東平野に分布する上総層群・下総層群	第28回	内容	火山灰と考古学：考古学に火山灰編年を適用する
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	地図帳を持参		授業実施特記	特に無し
第14回	内容	火山灰を用いた堆積物の編年：その2 関東平野地下に伏在する上総層群・下総層群	第29回	内容	世界の火山灰研究の紹介
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	地図帳を持参		授業実施特記	地図帳を持参
第15回	内容	火山灰を用いた堆積物の編年：その3 日本列島各地に分布する上総層群相当の堆積物	第30回	内容	火山灰から予測する将来の地球
	授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	講義のノートを整理する。
	授業実施特記	特に無し		授業実施特記	特に無し

履修コード/科目名称	818001 / 地理学特講 I 【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	橋詰 直道 (ハシヅメ ナオミチ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	地理学研究の課題の中でも特に、場所・景観・地域・環境の意味とその地理学的捉え方、研究方法について考えると同時に、緑地空間の保全や郊外住宅地に関する研究をとおして、地理学の応用や社会的貢献の可能性について講義したい。		
到達目標(ねらい)	特に地理学研究の今日的課題について理解する。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	講義の年間計画について
		準備学習 (予習・復習等)	年間スケジュール (予習) 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	地理学とは (地理学の意義)
		準備学習 (予習・復習等)	地理学の意義を文献から考える予習 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	場所の地理学 (場所の記憶、場所のイメージ) 1
		準備学習 (予習・復習等)	場所の記憶について予習 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	場所の地理学 (場所の記憶、場所のイメージ) 2
		準備学習 (予習・復習等)	場所のイメージについて予習 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	場所の地理学 (場所の記憶、場所のイメージ) 3
		準備学習 (予習・復習等)	場所の記憶とイメージについて復習 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	風土と景観 (風土論) 1
		準備学習 (予習・復習等)	和辻と三沢の風土論につて予習 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	風土と景観 (風土論) 2
		準備学習 (予習・復習等)	和辻と三沢の風土論について復習 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	立地と環境 (産業立地、農業地域) 1
		準備学習 (予習・復習等)	産業立地について予習 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	立地と環境 (産業立地、農業地域) 2
		準備学習 (予習・復習等)	農業地域について予習 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	立地と環境 (産業立地、農業地域) 3
		準備学習 (予習・復習等)	産業立地論について復習 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	都市と農村 (農山村の自立) 1
		準備学習 (予習・復習等)	都市と農村の概念について予習 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	都市と農村 (農山村の自立) 2
		準備学習 (予習・復習等)	都市と農村の概念について復習 60分
	第 13 回	授業の計画・内容	都市と農村 (都市化と縮小都市) 1

		準備学習 (予習・復習等)	都市化とシュリンキングシティについて予習	60分
第 14 回	授業の計画・内容	都市と農村（都市化と縮小都市）2		
	準備学習 (予習・復習等)	都市化とシュリンキングシティについて復習	60分	
第 15 回	授業の計画・内容	前期のまとめと課題の確認		
	準備学習 (予習・復習等)	前期の復習	60分	
第 16 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（都市と公園緑地）1		
	準備学習 (予習・復習等)	都市計画と公園緑地研究について予習	60分	
第 17 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（都市と公園緑地）2		
	準備学習 (予習・復習等)	都市計画と公園緑地研究について復習	60分	
第 18 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（都市と緑地保全）1		
	準備学習 (予習・復習等)	都市計画と緑地保全研究について予習	60分	
第 19 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（都市と緑地保全）2		
	準備学習 (予習・復習等)	都市計画と緑地保全研究について復習	60分	
第 20 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（都市の自立とまちづくり）1		
	準備学習 (予習・復習等)	地方都市のまちづくりについて予習	60分	
第 21 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（都市の自立とまちづくり）2		
	準備学習 (予習・復習等)	地方都市のまちづくりについて復習	60分	
第 22 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（日本の郊外住宅地）1		
	準備学習 (予習・復習等)	関西の郊外住宅開発史について予習	60分	
第 23 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（日本の郊外住宅地）2		
	準備学習 (予習・復習等)	関東の郊外住宅開発史について予習	60分	
第 24 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（日本の郊外住宅地）3		
	準備学習 (予習・復習等)	日本の郊外住宅開発史について復習	60分	
第 25 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（欧米の郊外住宅地）1		
	準備学習 (予習・復習等)	アメリカの郊外住宅地開発史について予習	60分	
第 26 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（欧米の郊外住宅地）2		
	準備学習 (予習・復習等)	イギリスの郊外住宅地開発史について予習	60分	
第 27 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（欧米の郊外住宅地）3		
	準備学習 (予習・復習等)	欧米の郊外住宅地開発史について復習	60分	
第 28 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（超郊外住宅地の高齢化）1		
	準備学習 (予習・復習等)	超郊外住宅地の高齢化について予習	60分	
第 29 回	授業の計画・内容	都市計画と地理学（超郊外住宅地の高齢化）2		
	準備学習			

		(予習・復習等)	超郊外住宅地の高齢化について復習	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	後期のまとめと課題の確認	
		準備学習 (予習・復習等)	後期の復習	60分
履修上の留意点等	地理学（特に人文地理学）だけでなく関連諸分野の研究動向にも興味をもって学習ができる人。			
成績評価の方法		試験		
	80 %	レポート		
		小テスト		
	20 %	平常点		
		課題レポート（80点）と、日頃の講義への取り組み姿勢など（20点）で総合的に評価する。		
教科書/テキスト	テキスト・文献は、講義の中で紹介する。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	その他、参考書は講義の中で随時紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	昨年度は授業アンケートの対象科目ではないが、毎時間学生の要望を取り入れながら授業を進めるように心掛けている。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	818101 / 地理学特講 I 【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	橋詰 直道 (ハシヅメ ナオミチ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	特に、人文地理学に関する文献調査から、地理学のテーマである場所・景観・地域・環境の捉え方や分析方法について各自の研究テーマに則して議論する。そのために、人文地理学や都市計画・農村計画などの関連分野における最近の論文購読とレビューを課題とする。		
到達目標(ねらい)	特に、人文地理学の研究動向を自分の研究と照らし合わせて把握する。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	卒業論文の研究フレームワークの再検討 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	研究フレームワークの再検討 (予習) 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	卒業論文の研究フレームワークの再検討 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	研究フレームワークの再検討 (復習) 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	研究計画 (1) 研究の目的と意義
		準備学習 (予習・復習等)	研究の目的と意義 (予習) 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	研究計画 (2) 研究の目的と意義
		準備学習 (予習・復習等)	研究の目的と意義 (復習) 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	研究計画 (3) 研究の方法論
		準備学習 (予習・復習等)	研究の方法論 (予習と復習) 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	研究計画 (4) 研究の対象地域
		準備学習 (予習・復習等)	研究の対象地域の検討 (予習と復習) 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	研究計画 (5) 研究の分析手法
		準備学習 (予習・復習等)	研究の分析手法の (予習と復習) 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	研究計画 (6) 研究の実施計画
		準備学習 (予習・復習等)	研究の実施計画 (予習と復習) 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	研究計画 (7) 研究の計画のまとめ (1)
		準備学習 (予習・復習等)	研究の計画のまとめ 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	研究計画 (8) 研究の計画のまとめ (2)
		準備学習 (予習・復習等)	研究の計画のまとめ 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献輪読 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	文献輪読の予習 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献輪読 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	文献輪読の予習 60分

第 13 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献輪読（3）	
	準備学習 （予習・復習等）	文献輪読の予習	60分
第 14 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献輪読（4）	
	準備学習 （予習・復習等）	文献輪読の予習	60分
第 15 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献輪読（5）	
	準備学習 （予習・復習等）	文献輪読の予習	60分
第 16 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献レビュー発表（1）	
	準備学習 （予習・復習等）	文献レビュー発表の予習	60分
第 17 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献レビュー発表（2）	
	準備学習 （予習・復習等）	文献レビュー発表の予習	60分
第 18 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献レビュー発表（3）	
	準備学習 （予習・復習等）	文献レビュー発表の予習	60分
第 19 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献レビュー発表（4）	
	準備学習 （予習・復習等）	文献レビュー発表の予習	60分
第 20 回	授業の計画・内容	人文地理学関連の文献レビュー発表（5）	
	準備学習 （予習・復習等）	文献レビュー発表の予習	60分
第 21 回	授業の計画・内容	研究成果の中間発表と成果の検討（1）	
	準備学習 （予習・復習等）	中間発表の予習	60分
第 22 回	授業の計画・内容	研究成果の中間発表と成果の検討（2）	
	準備学習 （予習・復習等）	中間発表の予習	60分
第 23 回	授業の計画・内容	研究成果の中間発表と成果の検討（3）	
	準備学習 （予習・復習等）	中間発表の予習	60分
第 24 回	授業の計画・内容	研究成果の中間発表と成果の検討（4）	
	準備学習 （予習・復習等）	中間発表の予習	60分
第 25 回	授業の計画・内容	研究成果の中間発表と成果の検討（5）	
	準備学習 （予習・復習等）	中間発表の予習	60分
第 26 回	授業の計画・内容	研究成果の中間発表と成果の検討（6）	
	準備学習 （予習・復習等）	中間発表の予習	60分
第 27 回	授業の計画・内容	研究成果の中間発表と成果の検討（7）	
	準備学習 （予習・復習等）	中間発表の予習	60分
第 28 回	授業の計画・内容	研究成果の中間発表と成果の検討（8）	
	準備学習 （予習・復習等）	中間発表の予習	60分
第 29 回	授業の計画・内容	研究成果のまとめとレポート課題（1）	

		準備学習 (予習・復習等)	まとめとレポート課題の予習	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	研究成果のまとめとレポート課題 (2)	
		準備学習 (予習・復習等)	まとめとレポート課題の復習	60分
履修上の留意点等	各自の研究テーマに即した人文地理学及び関連分野における最近の論文購読とレビューを課題とする。また、学部の地域文化調査法や演習にもゼミ学生として参加し、人文地理学研究のテーマと地域の設定や研究方法、分析手法についての討論にも参加してもらう。			
成績評価の方法		試験		
	80 %	レポート		
		小テスト		
	20 %	平常点		
		課題レポート（80点）と、日頃の講義への取り組み姿勢など（20点）で総合的に評価する。		
教科書/テキスト	テキスト・文献は、授業の中で紹介する			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	その他、参考書は授業の中で随時紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	小人数の文献レビュー発表中心の授業であるため授業評価の対象科目ではないが、毎時間学生の要望を取り入れながら授業を進めるように心掛けている。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	818401 / 自然地理学特講Ⅰ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	鈴木 秀和 (スズキ ヒデカズ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	自然地理学の分野の中でも、とくに水文学を中心とした話題について授業を行う。水文学の研究分野は多岐にわたるが、この授業では陸水（河川水・地下水・湖沼水）の水質形成過程や、その地域的な広がりから水の動きを解明する「トレーサー水文学」に関する知識の習得を目的とする。また、研究手法を学習するため、現地調査を行うとともに、実験室で水質分析作業なども実施する予定である。		
到達目標(ねらい)	自然地理学（とくに水文学）に関する理解を深めるとともに、研究論文を執筆するための知識や技能の習得を目標とする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス（授業の進め方）
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事後学習（翌週行うプレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	自然地理学とその研究分野
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	水文学の体系と関連分野
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	地球上の水のあり方と循環
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	水文学研究における地球化学的アプローチ
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	陸水の水質形成過程（1）
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	陸水の水質形成過程（2）
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	陸水の水質形成過程（3）
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	水質などの環境トレーサーを用いた水循環の把握（トレーサー水文学の基礎）
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	トレーサ水文学（1）
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	トレーサ水文学（2）
		準備学習 （予習・復習等）	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションならびにディスカッションに向けた準備） 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	トレーサ水文学（3）

		準備学習 (予習・復習等)	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションなら びにディスカッションに向けた準備）	60分
第 13 回	授業の計画・内容		水質形成やトレーサー水文学に関する論文の収集	
		準備学習 (予習・復習等)	論文検索ならびに講読用論文の選択	60分
第 14 回	授業の計画・内容		水質形成やトレーサー水文学に関する論文の講読	
		準備学習 (予習・復習等)	講読論文を用いた事前学習（プレゼンテーションなら びにディスカッションに向けた準備）	60分
第 15 回	授業の計画・内容		水質形成やトレーサー水文学に関する論文の講読	
		準備学習 (予習・復習等)	講読論文を用いた事前学習（プレゼンテーションなら びにディスカッションに向けた準備）	60分
第 16 回	授業の計画・内容		現地調査計画の立案	
		準備学習 (予習・復習等)	調査計画書の作成	60分
第 17 回	授業の計画・内容		水文観測機器の準備と使用方法	
		準備学習 (予習・復習等)	観測機器の使用法の再確認	60分
第 18 回	授業の計画・内容		現地調査による水文データの取得と採水方法	
		準備学習 (予習・復習等)	近場の河川水や湧水の採水の実施	180分
第 19 回	授業の計画・内容		現地調査データの整理方法	
		準備学習 (予習・復習等)	観測結果の取りまとめ	60分
第 20 回	授業の計画・内容		実験室における水質分析方法（１）	
		準備学習 (予習・復習等)	分析手法に関する事前学習	60分
第 21 回	授業の計画・内容		実験室における水質分析方法（２）	
		準備学習 (予習・復習等)	分析データの整理	60分
第 22 回	授業の計画・内容		水質分析データの解析手法（１）	
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料を用いた解析手法に関する事前学習	60分
第 23 回	授業の計画・内容		水質分析データの解析手法（２）	
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料を用いた解析手法に関する事前・事後学習	60分
第 24 回	授業の計画・内容		各種データから地下水の流れや起源の推定（１）	
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションなら びにディスカッションに向けた準備）	60分
第 25 回	授業の計画・内容		各種データから地下水の流れや起源の推定（２）	
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションなら びにディスカッションに向けた準備）	60分
第 26 回	授業の計画・内容		各種データから地下水の流れや起源の推定（３）	
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションなら びにディスカッションに向けた準備）	60分
第 27 回	授業の計画・内容		現地調査および水質データ解析の問題点や課題の整理	
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションなら びにディスカッションに向けた準備）	60分
第 28 回	授業の計画・内容		現地調査および水質データ解析の取りまとめ	
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料を用いた事前学習（プレゼンテーションなら びにディスカッションに向けた準備）	60分

	第 29 回	授業の計画・内容	成果発表	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションの準備	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	まとめ	
		準備学習 (予習・復習等)	現地調査ならびに水質解析結果を取りまとめたレポートの作成	120分
履修上の留意点等	水質分析などの実習は、授業時間外に実施することもある。			
成績評価の方法		試験		
	50 %	レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
教科書/テキスト	教科書はとくに使用しない。 プリントを授業中に配布する。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	適宜紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	この科目は、「学生による授業アンケート」の対象外科目のため、アンケートを実施していません。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目	ディスカッション、調査学習、個人によるプレゼンテーション。			

履修コード/科目名称	818501 / 自然地理学特講Ⅰ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	鈴木 秀和(スズキ ヒデカズ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	受講者の研究テーマに関連した文献の購読を行い、その研究分野の課題について整理するとともに、調査やデータ解析の手法、論文の構成と議論の展開方法などについて検討する。 それに基づき、受講者自らが研究論文を執筆するための指導（研究テーマを設定し、研究手法の検討、調査計画の立案、調査結果の分析、結論の導出法など）を行う。		
到達目標(ねらい)	研究テーマやその計画を立案し、現地調査により得られた各種データの分析等を通して、論理的な思考により、結論を導き出し、研究論文として仕上げる能力を修得することが目標である。		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	ガイダンス（授業の進め方など）
		準備学習 (予習・復習等)	配付資料を用いた事後学習 60分
	第2回	授業の計画・内容	これまでの研究成果および今後の研究テーマに関する発表
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションの準備 60分
	第3回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する文献リストの作成
		準備学習 (予習・復習等)	文献リストの作成作業 60分
	第4回	授業の計画・内容	関連文献・資料の収集
		準備学習 (予習・復習等)	図書館等における文献・資料収集 60分
	第5回	授業の計画・内容	関連文献・資料の収集
		準備学習 (予習・復習等)	図書館等における文献・資料収集 120分
	第6回	授業の計画・内容	文献・資料の講読(1)
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習 60分
	第7回	授業の計画・内容	文献・資料の講読(2)
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習 60分
	第8回	授業の計画・内容	文献・資料の講読(3)
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習 60分
	第9回	授業の計画・内容	文献・資料の講読(4)
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習 60分
	第10回	授業の計画・内容	文献・資料の講読(5)
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習 60分
	第11回	授業の計画・内容	文献・資料の講読(6)
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習 60分
	第12回	授業の計画・内容	関連分野の課題について検討

		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションおよびディスカッションに向けた準備	60分
第 13 回	授業の計画・内容		関連分野の研究手法について検討	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションおよびディスカッションに向けた準備	60分
第 14 回	授業の計画・内容		研究および調査計画の立案 (1)	
		準備学習 (予習・復習等)	研究および調査計画書の作成	120分
第 15 回	授業の計画・内容		研究および調査計画の立案 (2)	
		準備学習 (予習・復習等)	研究および調査計画書の作成	60分
第 16 回	授業の計画・内容		調査結果の報告とまとめ (1)	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションの準備、資料の作成	60分
第 17 回	授業の計画・内容		調査結果の報告とまとめ (2)	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションの準備、資料の作成	60分
第 18 回	授業の計画・内容		調査結果の報告とまとめ (3)	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションの準備、資料の作成	60分
第 19 回	授業の計画・内容		調査結果の報告とまとめ (4)	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションの準備、資料の作成	60分
第 20 回	授業の計画・内容		研究の中間発表	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションの準備、資料の作成	120分
第 21 回	授業の計画・内容		補足文献・資料の収集	
		準備学習 (予習・復習等)	図書館等における文献・資料収集	60分
第 22 回	授業の計画・内容		文献・資料の講読 (7)	
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習	60分
第 23 回	授業の計画・内容		文献・資料の講読 (8)	
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習	60分
第 24 回	授業の計画・内容		文献・資料の講読 (9)	
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習	60分
第 25 回	授業の計画・内容		文献・資料の講読 (10)	
		準備学習 (予習・復習等)	講読用文献・資料を用いた事前学習	60分
第 26 回	授業の計画・内容		補足調査に関する検討	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションおよびディスカッションに向けた準備	60分
第 27 回	授業の計画・内容		修士論文の構成や執筆スケジュールの検討	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションおよびディスカッションに向けた準備	60分
第 28 回	授業の計画・内容		今後の調査・研究計画に関する検討	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションおよびディスカッションに向けた準備	60分

	第 29 回	授業の計画・内容	今後の調査・研究計画に関する立案	
		準備学習 (予習・復習等)	調査・研究計画書の作成	120分
	第 30 回	授業の計画・内容	今後の調査・研究計画に関する検討	
		準備学習 (予習・復習等)	プレゼンテーションおよびディスカッションに向けた準備	60分
履修上の留意点等	与えられた文献は、授業前に必ず目を通しておくこと。			
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
教科書/テキスト	必要に応じて資料を配布する。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	適時紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	この科目は、「学生による授業アンケート」の対象外科目のため、アンケートを実施していません。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目	ディスカッション、個人によるプレゼンテーション、調査学習			

履修コード/科目名称	818601 / 自然地理学特講Ⅱ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	平井 幸弘 (ヒライ ユキヒロ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	(授業概要) 地形学および環境地理学の視点から、国内外における湖沼・湿地をめぐる様々な環境問題や、開発および持続的利用について、議論、考察を行う。 前期は、国内の湖沼・湿地を対象に、とくにラムサール条約および自然再生との関連から議論する。 後期は、東南アジア（韓国、中国、タイ、ベトナム）の湖沼・湿地を対象に、とくに地球温暖化、海面上昇との関連から議論し、海外調査の場合の、各種資料の準備や利用の仕方についても学ぶ。		
到達目標(ねらい)	自らが、ある地域の環境問題について、課題を整理し、研究テーマを設定して、調査・研究を実践できることを目標とする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	ガイダンス（年間の講義概要と授業の進め方） 講義前にシラバスを確認 60分
	第 2 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	日本の湖沼の成因と景観 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分
	第 3 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	日本の湖沼の地形発達 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分
	第 4 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	日本の湖沼における人との関わり 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分
	第 5 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	霞ヶ浦総合開発事業（1971-1995年） 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分
	第 6 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	小川原湖総合開発事業（1972-2002年） 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分
	第 7 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	日本の湖沼における水質汚染 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分
	第 8 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	ラムサール条約と日本の登録湿地 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分
	第 9 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	生物多様性条約と自然再生推進法 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分
	第 10 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	琵琶湖の内湖の保全と再生 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分
	第 11 回	授業の計画・内容 準備学習 (予習・復習等)	琵琶湖西岸の安曇川三角州 上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成 60分

第 12 回	授業の計画・内容	宍道湖・中海におけるワイズユース	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 13 回	授業の計画・内容	三方五湖における自然再生とワイズユース	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 14 回	授業の計画・内容	日本国内の湖沼をめぐる環境問題に関する発表と討論 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	他の人の発表内容の復習とまとめ	60分
第 15 回	授業の計画・内容	日本国内の湖沼をめぐる環境問題に関する発表と討論 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	他の人の発表内容の復習とまとめ	60分
第 16 回	授業の計画・内容	「気候変動枠組条約」とCOP (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 17 回	授業の計画・内容	「気候変動枠組条約」とCOP (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 18 回	授業の計画・内容	韓国における湖沼・湿地に関する環境問題 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 19 回	授業の計画・内容	韓国における湖沼・湿地に関する環境問題 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 20 回	授業の計画・内容	中国における湖沼・湿地に関する環境問題 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 21 回	授業の計画・内容	中国における湖沼・湿地に関する環境問題 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 22 回	授業の計画・内容	タイにおける湖沼・湿地に関する環境問題 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 23 回	授業の計画・内容	タイにおける湖沼・湿地に関する環境問題 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 24 回	授業の計画・内容	ベトナムにおける湖沼・湿地に関する環境問題 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 25 回	授業の計画・内容	ベトナムにおける湖沼・湿地に関する環境問題 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する論文・図書の検索 授業での配付資料をもとに、授業概要の作成	60分
第 26 回	授業の計画・内容	東南アジアの湖沼・湿地に関する各種資料 (地形図、衛星画像、統計資料など) の分析 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する各種資料の収集と整理	60分
第 27 回	授業の計画・内容	東南アジアの湖沼・湿地に関する各種資料 (地形図、衛星画像、統計資料など) の分析 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	上記授業内容に関する各種資料の収集と整理	60分

	第 28 回	授業の計画・内容	東南アジアの湖沼・湿地に関する分析にもとづく議論（1）	
		準備学習 （予習・復習等）	他の人の発表内容の復習とまとめ	60分
	第 29 回	授業の計画・内容	東南アジアの湖沼・湿地に関する分析にもとづく議論（2）	
		準備学習 （予習・復習等）	他の人の発表内容の復習とまとめ	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	東南アジアの湖沼・湿地環境に関するまとめ	
		準備学習 （予習・復習等）	全授業の振り返り	60分
履修上の留意点等	高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）を用意して欲しい。			
成績評価の方法		試験		
	50 %	レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
教科書/テキスト	特定の教科書／テキストは指定しない。 必要に応じて学術論文ほかを準備する。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業内容に関連して、適宜参考書を紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業アンケートの対象科目ではないので、授業アンケートは未実施。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	818701 / 自然地理学特講Ⅱ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	平井 幸弘 (ヒライ ユキヒロ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	受講生の研究テーマに即して、関連する学術論文をレビューし、各種資料の準備や利用・分析の仕方について検討する。夏季休業中に、研究テーマに関連した現地調査を実施することを念頭に、その計画の立案と検討を行う。そして、データの分析と調査結果を合わせて、研究テーマに沿った議論と考察を行い、最終的に報告書を作成し発表を行う。		
到達目標(ねらい)	最終的に、受講生自らが、ある地域の環境問題について、課題を整理し、研究テーマを設定して、調査・研究を実践できることを目標とする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス (授業の概要と進め方)
		準備学習 (予習・復習等)	講義前にシラバスを確認 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	受講生のこれまでの研究に関する確認と検討 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	これまでの研究成果についての発表のための、レジメとパワーポイントの作成 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	受講生のこれまでの研究に関する確認と検討 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	これまでの研究成果についての発表のための、レジメとパワーポイントの作成 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	今後の研究テーマに関する枠組の設定・議論 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	今後の研究テーマに関する枠組の設定・議論 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する学術論文のレビュー (1)
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する学術論文のレビュー (2)
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する学術論文のレビュー (3)
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	研究テーマについての資料収集とデータの分析 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	研究テーマについての資料収集とデータの分析 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	研究テーマについての資料収集とデータの分析 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	現地調査に関する計画の立案と検討 (1)

		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 13 回	授業の計画・内容		現地調査に関する計画の立案と検討 (2)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 14 回	授業の計画・内容		現地調査に関する計画の立案と検討 (3)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 15 回	授業の計画・内容		現地調査実施に伴う最終調整	
		準備学習 (予習・復習等)	前半の授業全体の振り返り	60分
第 16 回	授業の計画・内容		調査結果の概要報告 (1)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 17 回	授業の計画・内容		調査結果の概要報告 (2)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 18 回	授業の計画・内容		調査結果の概要報告 (3)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 19 回	授業の計画・内容		データの分析及び現地調査結果について整理・報告 (1)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 20 回	授業の計画・内容		データの分析及び現地調査結果について整理・報告 (2)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 21 回	授業の計画・内容		データの分析及び現地調査結果について整理・報告 (3)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 22 回	授業の計画・内容		研究テーマに関する議論と考察 (1)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 23 回	授業の計画・内容		研究テーマに関する議論と考察 (2)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 24 回	授業の計画・内容		研究テーマに関する議論と考察 (3)	
		準備学習 (予習・復習等)	上記の授業内容に関するレジメを作成し、発表用のパワーポイントを準備する。	60分
第 25 回	授業の計画・内容		報告書・論文の作成 (1)	
		準備学習 (予習・復習等)	報告書・論文作成のためのドラフトの準備	60分
第 26 回	授業の計画・内容		報告書・論文の作成 (2)	
		準備学習 (予習・復習等)	報告書・論文作成のためのドラフトの準備	60分
第 27 回	授業の計画・内容		報告書・論文の作成 (3)	
		準備学習 (予習・復習等)	報告書・論文作成のためのドラフトの準備	60分
第 28 回	授業の計画・内容		研究成果のプレゼンテーション (1)	
		準備学習 (予習・復習等)	研究成果のプレゼンテーションのためのパワーポイントの準備	60分

	第 29 回	授業の計画・内容	研究成果のプレゼンテーション（2）		
		準備学習 （予習・復習等）	研究成果のプレゼンテーションのためのパワーポイントの準備	60分	
	第 30 回	授業の計画・内容	今後の研究についての検討		
		準備学習 （予習・復習等）	全授業の振り返り		60分
履修上の留意点等	特になし				
成績評価の方法		試験			
	50 %	レポート			
		小テスト			
	50 %	平常点			
		平常点および課題レポートで評価する。			
教科書/テキスト	特定の教科書／テキストは指定しない。 必要に応じて学術論文ほかを準備する。				
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業内容に関連して、適宜参考書を紹介する				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業アンケート対象外科目なので、授業アンケートは未実施。				
関連リンク					
実務経験がある教員による授業科目					
アクティブラーニング型の授業科目					

履修コード/科目名称	818801 / 自然地理学特講Ⅲ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	柳田 誠 (ヤナギダ マコト)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	この講義では、受講生の興味、専門分野に応じて、地形学の知識や技術を紹介、議論し、それをどのように応用してゆくかを考える。		
到達目標(ねらい)	地形は地球表面の起伏であり、人間活動に与える影響は大きい。その地形は多くの作用によって作られてきたし、今後も大きく変化してゆくことが予想される。まず、基本的な知識として地形を形成する個々の作用の説明をし、手法として、空中写真判読と地形図の読図を解説する。また、外国の地形も積極的にとりあげて、その地形の特徴を明らかにすることを目指す。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	地形学の解説とその歴史、地形面の定義を講義する。復習として、地形面の定義をまとめる。
		準備学習 (予習・復習等)	これまで各研究者が提示した地形学の定義をまとめる。 120分
	第 2 回	授業の計画・内容	地形発達史を理解するための基礎知識を解説する。
		準備学習 (予習・復習等)	復習として、関東平野の地形発達史をまとめる。 120分
	第 3 回	授業の計画・内容	河岸段丘について解説し、地形分類作業をしてみる。
		準備学習 (予習・復習等)	復習として、プリントの段丘区分作業を行う。 120分
	第 4 回	授業の計画・内容	火山灰編年学、分析手法について講義する。
		準備学習 (予習・復習等)	時間内で処理しきれない火山灰サンプルについて、洗浄、篩わけ、顕微鏡観察を行う。 120分
	第 5 回	授業の計画・内容	水系の発達史、時間について講義する。
		準備学習 (予習・復習等)	復習として、火山灰の顕微鏡観察を行う。プリント地形図に作業し、水系図を作成する。 120分
	第 6 回	授業の計画・内容	各種山地の侵食速度について講義する。
		準備学習 (予習・復習等)	復習として、各種文献から日本各地の侵食速度をまとめる。 120分
授業スケジュール	第 7 回	授業の計画・内容	世界の安定大陸の地形について講義する。
		準備学習 (予習・復習等)	プリント地形図から地形断面を作成してみる。 120分
	第 8 回	授業の計画・内容	日本の地形の特徴を世界各地の地域と比較して講義し、議論する。
		準備学習 (予習・復習等)	プリントで配布する日本列島の接峰面図を観察し、山地区分を行ってみること。 120分
	第 9 回	授業の計画・内容	日本の山地地形について講義する。
		準備学習 (予習・復習等)	前回に作成した山地区分図を修正してみる。 120分
	第 10 回	授業の計画・内容	中国山地の形成過程について講義し、議論する。
		準備学習 (予習・復習等)	中国山地吉備高原において南北方向の模式断面図を作成してみる。 120分
	第 11 回	授業の計画・内容	東北地方内帯の地形発達について講義し、議論する。
		準備学習 (予習・復習等)	中新世以降の北上低地、脊梁山脈の地史をまとめてみる。 120分
	第 12 回	授業の計画・内容	急速に隆起し侵食されてきた房総丘陵の地形発達について講義

			し、議論する。	
		準備学習 (予習・復習等)	房総半島の接峰面を観察し、地形発達史を考えてみる。	120分
第 13 回	授業の計画・内容		日本で最も高い山地が発達する中部山岳地帯の地形について講義し、議論する。	
	準備学習 (予習・復習等)		中新世以降の赤石山地、木曽山地の発達史を考えてみる。	120分
第 14 回	授業の計画・内容		東京山手台地の地形の成り立ちについて講義し、議論する。	
	準備学習 (予習・復習等)		武蔵野台地の地形分類の研究史をまとめる。	120分
第 15 回	授業の計画・内容		多摩川の三角州の発達過程、地形形成速度について講義し、議論する。	
	準備学習 (予習・復習等)		復習として、各時代の海岸線を土地条件図に書いてみる。	120分
第 16 回	授業の計画・内容		地形学において異常な地形とは何か、それらの意義、疑問について、空中写真判読をして講義する。	
	準備学習 (予習・復習等)		空中写真判読の実習を行うので、判読作業を復習しておくこと。	120分
第 17 回	授業の計画・内容		活断層が作る地形、変動地形について実例をあげて空中写真判読をして講義する。	
	準備学習 (予習・復習等)		空中写真判読の実習を行うので、判読作業を復習しておくこと。	120分
第 18 回	授業の計画・内容		活断層についての地形図読図と空中写真判読を行う。	
	準備学習 (予習・復習等)		空中写真判読の実習を行うので、判読作業を復習しておくこと。	120分
第 19 回	授業の計画・内容		日本列島の第四紀地殻変動について講義、議論する。	
	準備学習 (予習・復習等)		復習として、防災科研から発行された第四紀地殻変動図の文献を読むこと。	120分
第 20 回	授業の計画・内容		山地における崖崩れ、土石流について、被害、防災の観点から、空中写真判読をして講義する。	
	準備学習 (予習・復習等)		空中写真判読の実習を行うので、判読作業を復習しておくこと。	120分
第 21 回	授業の計画・内容		地すべり、地すべり地形について被害、防災の観点から、空中写真判読をして講義する。	
	準備学習 (予習・復習等)		空中写真判読の実習を行うので、判読作業を復習しておくこと。	120分
第 22 回	授業の計画・内容		地すべり地形の地形図読図と空中写真判読を行う。	
	準備学習 (予習・復習等)		空中写真判読の実習を行うので、判読作業を復習しておくこと。	120分
第 23 回	授業の計画・内容		火山地形について地形図読図と空中写真判読を行う。	
	準備学習 (予習・復習等)		空中写真判読の実習を行うので、判読作業を復習しておくこと。	120分
第 24 回	授業の計画・内容		阿蘇などの巨大火砕流の地形について講義、議論する。	
	準備学習 (予習・復習等)		第四紀後期以降に発生した破局的噴火を列挙して確認する。	120分
第 25 回	授業の計画・内容		日本の河川氾濫、洪水について過去の災害を紹介しつつ、議論する。	
	準備学習 (予習・復習等)		明治時代以降に発生した洪水被害を列挙して確認する。	120分
第 26 回	授業の計画・内容		ニュージーランドの断層地形について講義、議論する。	
	準備学習 (予習・復習等)		復習として、ニュージーランドの5万分1地形図の部分コピーを配布するので、地形分類を試みる。	120分
第 27 回	授業の計画・内容		韓国の地形について講義、議論する。	

		準備学習 (予習・復習等)	復習として、韓国の旧版5万分1地形図の部分コピーを配布するので、地形分類を試みる。	120分
	第 28 回	授業の計画・内容	台湾の活断層地形について講義、議論する。	
		準備学習 (予習・復習等)	復習として、台湾の旧版5万分1地形図の部分コピーを配布するので、地形分類を試みる。	120分
	第 29 回	授業の計画・内容	氷河と海水によるアイソスタシーリバウンドについて講義する。	
		準備学習 (予習・復習等)	世界的なアイソスタシーの変動を検討すること。	120分
	第 30 回	授業の計画・内容	ドイツ、イギリスの氷河地形について講義、議論する。	
準備学習 (予習・復習等)		復習として、ドイツの5万分1地形図の部分コピーを配布するので、地形分類を試みる。	120分	
履修上の留意点等	いろいろな地形に興味、疑問を持ち、予習、復習をする。色鉛筆を5色程度を用意する。空中写真などを実体視するために赤青メガネを持参する。			
成績評価の方法		試験		
	100 %	レポート		
		小テスト		
		平常点		
教科書/テキスト	教科書は指定しない。プリントを配布する。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	参考書は随時、紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	受講者が少数であるため、学生による授業アンケートの対象授業ではない。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目	当科目は応用地形学、応用地質学分野の実務経験を有する教員による授業科目です。			
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	819401 / 人文地理学特講Ⅱ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	佐藤 哲夫 (サトウ テツオ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	Phonpat Hemwan 著 『 Participatory GIS for Rural Land Use Planning with the Scope of Adaptation to Environmental Changes 』 を読む。		
到達目標(ねらい)	専門的な英語力を向上させるとともに、タイにおけるGISの利用、とくに環境保全分野への応用についての理解を深める。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	授業の進め方について
		準備学習 (予習・復習等)	下記参考文献を読む。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	1.1 Rationales for the Study
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	1.2 Development of Conservation Policy in Thailand
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	1.3 Concept of Co-management Approach in Thailand
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	1.4 Significance of PGIS in Geographic Context
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	1.5 Progress of PGIS Approach in Thailand
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	1.6 Research Objectives and Methodology
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	1.7 Study Area
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	2.1 Introduction to Highland Land Use Patterns
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	2.2 Traditional Agricultural Land Use Patterns
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	2.3 Recent Change of Agricultural Land Use Patterns 2.3.1 Case of Huai Win
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	2.3 Recent Change of Agricultural Land Use Patterns 2.3.2 Case of Pang Yang
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習 (和訳) ・復習 60分

第 13 回	授業の計画・内容	2.3 Recent Change of Agricultural Land Use Patterns 2.3.3 Case of Maneepluek 1	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 14 回	授業の計画・内容	2.4 National Park Conservation and Land Use Planning	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 15 回	授業の計画・内容	2.4 National Park Conservation and Land Use Planning 2.4.1 Case of Huai Win	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 16 回	授業の計画・内容	2.4 National Park Conservation and Land Use Planning 2.4.2 Case of Pang Yang	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 17 回	授業の計画・内容	2.4 National Park Conservation and Land Use Planning 2.4.3 Case of Maneepluek 1	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 18 回	授業の計画・内容	2.5 Comparison of Three Cases	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 19 回	授業の計画・内容	3.1 JoMPA Project	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 20 回	授業の計画・内容	3.2 Framework of PGIS Application	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 21 回	授業の計画・内容	3.3 PGIS Process for Joint Management of National Park	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 22 回	授業の計画・内容	3.4 Implementation of PGIS at Representative Communities	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 23 回	授業の計画・内容	3.5 Guidelines of PGIS Application	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 24 回	授業の計画・内容	4.1 Framework of Follow-up Study	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 25 回	授業の計画・内容	4.2 Adaptive Land Use Planning in Pang Yang	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 26 回	授業の計画・内容	4.3 Adaptation Strategy and Role of PGIS	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 27 回	授業の計画・内容	5.1 Process of Local Land Use Planning with PGIS	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分
第 28 回	授業の計画・内容	5.2 Key Tools of PGIS	
	準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習(和訳)・復習	60分

	第 29 回	授業の計画・内容	5.3 Participation Level of PGIS	
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習（和訳）・復習	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	5.4 Final Remarks	
		準備学習 (予習・復習等)	上記部分の予習（和訳）・復習	60分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
教科書/テキスト		配布する。 本論文は平成27年度の駒澤大学 博士（地理学） 学位論文である。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索		Hemwan, Phonpat 2016 『平成27年度 [人文科学研究科地理学専攻] 博士論文要旨 Participatory GIS for Rural Land Use Planning with the Scope of Adaptation to Environmental Changes』 駒澤大学学術機関リポジトリ http://repo.komazawa-u.ac.jp/opac/repository/all/35871/?lang=0&mode=2&opkey=R157958423695082&idx=5&chk_schema=100%2C200%2C300&facet_key=title		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について		適宜，意見を聞いて，できるだけ授業に反映させる。		
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	819501 / 人文地理学特講Ⅱ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	佐藤 哲夫 (サトウ テツオ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	受講者の関心に従い、研究に関連する文献の講読、方法論の検討、調査計画立案、論文構成の検討などについて指導する。		
到達目標(ねらい)	修士論文執筆に向けて、研究の完成度を少しでも高くする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	演習の進め方についての打ち合わせ
		準備学習 (予習・復習等)	研究計画の確認 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	修士論文の仮研究テーマとこれまでの研究成果の発表
		準備学習 (予習・復習等)	研究成果の発表要旨作成 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する文献の収集
		準備学習 (予習・復習等)	関連文献表の作成 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	参考文献報告 (1 回目)
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献 1 の要旨作成 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	参考文献報告 (2 回目)
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献 2 の要旨作成 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	参考文献報告 (3 回目)
		準備学習 (予習・復習等)	参考文献 3 の要旨作成 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する資料の収集
		準備学習 (予習・復習等)	研究資料のリスト作成 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	研究資料の分析 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	研究資料の分析結果概要 1 の作成 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	研究資料の分析 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	研究資料の分析結果概要 2 の作成 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	研究資料の分析結果報告
		準備学習 (予習・復習等)	研究資料の分析結果の最終報告作成 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	研究の方法論の検討
		準備学習 (予習・復習等)	研究方法論の概要作成 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	研究仮説の検討
		準備学習 (予習・復習等)	研究仮説の要旨作成 60分
	第 13 回	授業の計画・内容	中間報告 (1 回目)

	準備学習 (予習・復習等)	中間報告（1回目）発表要旨作成	60分
第 14 回	授業の計画・内容	第1次調査計画の検討・立案	
	準備学習 (予習・復習等)	第1次調査計画の概要作成	60分
第 15 回	授業の計画・内容	第1次調査準備	
	準備学習 (予習・復習等)	第1次調査準備	60分
第 16 回	授業の計画・内容	第1次調査報告と結果の分析	
	準備学習 (予習・復習等)	第1次調査の報告要旨作成	60分
第 17 回	授業の計画・内容	第1次調査のまとめ	
	準備学習 (予習・復習等)	第1次調査の結果報告作成	60分
第 18 回	授業の計画・内容	研究仮説の再検討	
	準備学習 (予習・復習等)	研究仮説の点検報告作成	60分
第 19 回	授業の計画・内容	補足調査の必要性の検討	
	準備学習 (予習・復習等)	補足調査計画の概要作成	60分
第 20 回	授業の計画・内容	補足調査準備	
	準備学習 (予習・復習等)	補足調査準備	60分
第 21 回	授業の計画・内容	補足調査の報告と結果の検討	
	準備学習 (予習・復習等)	補足調査の報告要旨作成	60分
第 22 回	授業の計画・内容	論文構成の検討	
	準備学習 (予習・復習等)	論文構成の概要作成	60分
第 23 回	授業の計画・内容	補足文献・資料の収集	
	準備学習 (予習・復習等)	補足文献・資料のリストアップ	60分
第 24 回	授業の計画・内容	中間報告会準備	
	準備学習 (予習・復習等)	中間報告会準備	60分
第 25 回	授業の計画・内容	中間報告（2回目）	
	準備学習 (予習・復習等)	中間報告（2回目）発表要旨作成	60分
第 26 回	授業の計画・内容	研究仮説の検討（3回目）	
	準備学習 (予習・復習等)	研究仮説の検討（3回目）結果報告作成	60分
第 27 回	授業の計画・内容	論文構成の再検討	
	準備学習 (予習・復習等)	論文構成の再検討結果報告作成	60分
第 28 回	授業の計画・内容	論文執筆スケジュール確認	
	準備学習 (予習・復習等)	論文執筆スケジュール点検	60分
第 29 回	授業の計画・内容	今後の研究計画の立案・準備	
	準備学習 (予習・復習等)	今後の研究計画の構想	60分

	第 30 回	授業の計画・内容	まとめ	
		準備学習 (予習・復習等)	進捗状況点検・総括	60分
履修上の留意点等	授業スケジュールは回が前後することもありうる。課題授業を実施することもある。			
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
教科書/テキスト				
参考書 ▶ 図書館蔵書検索				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	適宜，意見を聞いて，できるだけ授業に反映させる。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	819601 / 人文地理学特講Ⅲ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	王尾 和寿（オウビ カズヒサ）		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	人文地理学分野における計量的手法，特にGISをはじめとした地理情報科学における分析的方法論について理解する．GIS専門学術士資格（日本地理学会）の取得を視野に入れ，人文地理学の分析的方法論（計量的手法，地域モデルの構築，地理情報システムなど）について説明し，これらに関する応用例を幅広く紹介する．また，地理情報科学に関連する論文講読とレビューを行う．		
到達目標(ねらい)	地理空間情報を利用した空間分析の方法を理解し，各自の研究において活用できることを目標とする．		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス
		準備学習 (予習・復習等)	シラバスの確認 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	人文地理学における計量的手法 1
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	人文地理学における計量的手法 2
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	人文地理学における計量的手法 3
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	地理空間情報の取得とデータベース化 1
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	地理空間情報の取得とデータベース化 2
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	地理空間情報の取得とデータベース化 3
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	地理空間の認識
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	地理空間データモデリング 1
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	地理空間データモデリング 2
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	地理空間データの位置表現
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	地理空間データの視覚化 1

	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 13 回	授業の計画・内容	地理空間データの視覚化 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 14 回	授業の計画・内容	地理情報科学に関する分析手法 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 15 回	授業の計画・内容	地理情報科学に関する分析手法 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 16 回	授業の計画・内容	地理情報科学に関する分析手法 3	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 17 回	授業の計画・内容	GISによる空間分析（基礎） 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 18 回	授業の計画・内容	GISによる空間分析（基礎） 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 19 回	授業の計画・内容	GISによる空間分析（基礎） 3	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 20 回	授業の計画・内容	GISによる空間分析（応用） 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 21 回	授業の計画・内容	GISによる空間分析（応用） 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 22 回	授業の計画・内容	GISによる空間分析（応用） 3	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 23 回	授業の計画・内容	環境分野における応用研究 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 24 回	授業の計画・内容	環境分野における応用研究 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 25 回	授業の計画・内容	環境分野における応用研究 3	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 26 回	授業の計画・内容	人文社会分野における応用研究 1	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 27 回	授業の計画・内容	人文社会分野における応用研究 2	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
第 28 回	授業の計画・内容	人文社会分野における応用研究 3	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分

	第 29 回	授業の計画・内容	空間情報科学と社会 1	
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	空間情報科学と社会 2	
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料の精読	60分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
	50 %	レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
教科書/テキスト	指定しない.			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	講義中に紹介する.			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため，授業アンケート未実施.			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目	当科目は都市計画におけるGIS活用など，地理情報科学分野の実務経験を有する教員による授業科目です.			
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	820001 / 人文地理学特講Ⅴ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	小田 匡保 (オダ マサヤス)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	歴史地理学・宗教地理学を中心に、人文地理学の最新論文を読む。受講生が担当の論文の内容を紹介し、論文について全員でディスカッションする形式をとる。		
到達目標(ねらい)	歴史地理学・宗教地理学の研究の最前線について理解を深める。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	前期授業の進め方についてのオリエンテーション
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習をする。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	歴史地理学61-1論文の講読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	歴史地理学61-1論文の再読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	歴史地理学61-2論文の講読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	歴史地理学61-2論文の再読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	歴史地理学61-3論文の講読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	歴史地理学61-3論文の再読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	歴史地理学61-4論文の講読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	歴史地理学61-4論文の再読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	歴史地理学62-1論文の講読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	歴史地理学62-1論文の再読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	歴史地理学62-2論文の講読
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 13 回	授業の計画・内容	歴史地理学62-2論文の再読

	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	(課題授業) 関連論文を自分で探して読む。	
	準備学習 (予習・復習等)	論文検索をする。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	自分で探した論文についての発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	後期授業の進め方についてのオリエンテーション	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習をする。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	人文地理71-1論文の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	人文地理71-1論文の再読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	人文地理71-2論文の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	人文地理71-2論文の再読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	人文地理71-3論文の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	人文地理71-3論文の再読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	人文地理71-4論文の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	人文地理71-4論文の再読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	人文地理72-1論文の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	人文地理72-1論文の再読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	人文地理72-2論文の講読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	人文地理72-2論文の再読	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	(課題授業) 関連論文を自分で探して読む。	
	準備学習 (予習・復習等)	論文検索をする。	60分

	第 30 回	授業の計画・内容	自分で探した論文についての発表	
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
平常の学習状況や発表・討論内容を総合的に評価する。				
教科書/テキスト	使用しない。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	論文の内容に応じて指示する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、授業アンケート未実施（授業アンケート対象外科目）。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目	担当の受講生が発表し、全員でディスカッションする形式をとる。			

履修コード/科目名称	820101 / 人文地理学特講Ⅴ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	小田 匡保 (オダ マサヤス)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	受講生の関心に応じて、関連文献の講読、資料の検討、研究テーマの設定、調査方法の検討、調査結果の分析・考察、論文構成の検討、発表準備などを行なう。		
到達目標(ねらい)	内容のある高度な修士論文を執筆し、提出できるようにする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	授業の進め方についてのオリエンテーション（以下、修士1年生を念頭においている）
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習をする。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	これまでの研究と今後の展望についての発表
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	関連文献リストの作成
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	関連文献リストの修正
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	関連文献の講読 1（履修者 A）
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	関連文献の講読 2（履修者 B）
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	研究テーマの検討
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	手近な資料の検討 1（履修者 A）
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	手近な資料の検討 2（履修者 B）
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	研究テーマの設定
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	調査計画の検討 1（履修者 A）
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	調査計画の検討 2（履修者 B）
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。 60分
	第 13 回	授業の計画・内容	夏休み調査方法の検討 1（履修者 A）

		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	夏休み調査方法の検討 2 (履修者 B)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	(課題授業) 現地調査		
		準備学習 (予習・復習等)	調査の準備をする。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	(課題授業) 現地調査		
		準備学習 (予習・復習等)	調査の準備をする。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	夏休み調査結果の分析・報告と考察 1 (履修者 A)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	夏休み調査結果の分析・報告と考察 2 (履修者 B)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	手近な資料の検討 1 (履修者 A)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	手近な資料の検討 2 (履修者 B)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	関連文献の講読 1 (履修者 A)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	関連文献の講読 2 (履修者 B)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	補足調査方法の検討		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	補足調査結果の報告		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	論文構成の検討		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	中間発表会準備 1 (履修者 A)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	中間発表会準備 2 (履修者 B)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	中間発表会の反省と論文構成の再検討		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	次年度までの調査計画・方法の検討 1 (履修者 A)		
		準備学習 (予習・復習等)	発表準備をする。	60分

	第 30 回	授業の計画・内容	次年度までの調査計画・方法の検討 2（履修者 B）	
		準備学習 （予習・復習等）	発表準備をする。	60分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
	平常の学習状況や発表・討論内容を総合的に評価する。			
教科書/テキスト	使用しない。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	発表内容に応じて指示する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、授業アンケート未実施（授業アンケート対象外科目）。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目	学生一人一人が発表し、ディスカッションする授業である。			

履修コード/科目名称	820201 / 地誌学特講 I 【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	高橋 健太郎 (タカハシ ケンタロウ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	地誌学や人文地理学のうち、特に日本と中国に関する研究史および地域調査の手法を解説し、関連文献を受講生全員で講読するとともに、研究発表と討論も行なう。		
到達目標(ねらい)	地誌学や人文地理学の研究領域、特にアジア地誌、村落地理学、文化地理学に関する地域調査や研究への理解を深める。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	地理学的研究への視座
		準備学習 (予習・復習等)	シラバスをよく読むとともに、自身のこれまでの研究内容を整理して、授業に参加する準備をする。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	地域の概念についての講義
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	地域性についての講義
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	地域調査の目的についての講義
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	地域調査の手法についての講義
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	村落地理学に関する講義 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	村落地理学に関する講義 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	村落地理学に関する講義 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	文化地理学に関する講義 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	文化地理学に関する講義 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	文化地理学に関する講義 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	文化地理学に関する講義 (4)
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 13 回	授業の計画・内容	アジア地誌に関する講義 (1)

		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	アジア地誌に関する講義 (2)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	アジア地誌に関する講義 (3)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (1)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (2)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (3)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (4)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (5)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (6)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (7)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (8)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	研究発表の目的についての講義 (1)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	研究発表の目的についての講義 (2)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	研究発表の手法についての講義 (1)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	研究発表の手法についての講義 (2)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	研究発表と討論 (1)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	研究発表と討論 (2)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は 発表の準備をする。	60分

	第 30 回	授業の計画・内容	研究発表と討論（3）	
		準備学習 （予習・復習等）	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は発表の準備をする。	60分
履修上の留意点等	受講生数に応じて、授業スケジュールを適宜調整する。			
成績評価の方法		試験		
	30 %	レポート		
		小テスト		
	30 %	平常点		
	40 %	研究発表の内容と討論への参加状況		
教科書/テキスト	特になし。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業中に適宜紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業アンケート対象外科目のため「学生による授業アンケート」は未実施であるが、学びには能動的な姿勢が大切だということを実感できる機会を多く作りたい。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目	本科目では、受講生が個人で地誌学や人文地理学の調査、研究に関するプレゼンテーションを行ない、全員でディスカッションをする。			

履修コード/科目名称	820301 / 地誌学特講 I 【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	高橋 健太郎 (タカハシ ケンタロウ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	地誌学や人文地理学のうち、特に日本と中国に関する研究史および地域調査の手法を解説し、関連文献を受講生全員で講読するとともに、研究発表と討論も行なう。		
到達目標(ねらい)	地誌学や人文地理学の研究領域、特にアジア地誌や村落地理学、文化地理学に関する地域調査と研究への理解を深め、研究論文を読解、作成する力を養う。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	地理学的研究への視座
		準備学習 (予習・復習等)	シラバスをよく読むとともに、自身のこれまでの研究内容を整理して、授業に参加する準備をする。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	地域の概念についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	地域性についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	文献資料の収集についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。自身の研究テーマに関する文献資料を準備する。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	文献資料の分析についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。自身の研究テーマに関する文献資料を準備する。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	統計資料の収集についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。自身の研究テーマに関する統計資料を準備する。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	統計資料の分析についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。自身の研究テーマに関する統計資料を準備する。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	地図資料の収集についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。自身の研究テーマに関する地図資料を準備する。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	地図資料の分析についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。自身の研究テーマに関する地図資料を準備する。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	地域調査の目的についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	地域調査の手法についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	土地利用調査についての討論
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。 60分
	第 13 回	授業の計画・内容	景観調査についての討論

		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	調査票の作成と改良についての討論		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	聞き取り調査についての討論		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	アンケート調査についての討論		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	参与観察についての討論		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (1)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は発表の準備をする。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (2)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は発表の準備をする。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	文献講読と討論 (3)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は発表の準備をする。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	収集資料の整理と分析についての討論		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	事象の地図化と主題図の作成についての討論		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	論文作成の目的についての討論		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	論文作成の手法についての討論 (1)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	論文作成の手法についての討論 (2)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	論文の改良と発表についての討論		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	研究発表と討論 (1)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は発表の準備をする。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	研究発表と討論 (2)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は発表の準備をする。	60分
第 29 回	授業の計画・内容	研究発表と討論 (3)		
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は発表の準備をする。	60分

	第 30 回	授業の計画・内容	研究発表と討論（4）	
		準備学習 （予習・復習等）	前回までの講義内容と配布資料を復習する。担当者は発表の準備をする。	60分
履修上の留意点等	受講生数に応じて、授業スケジュールを適宜調整する。			
成績評価の方法		試験		
	30 %	レポート		
		小テスト		
	30 %	平常点		
	40 %	研究発表の内容と討論への参加状況		
教科書/テキスト	特になし。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業中に適宜紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業アンケート対象外科目のため「学生による授業アンケート」は未実施であるが、学びには能動的な姿勢が大切だということを実感できる機会を多く作りたい。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目	本科目では、受講生が個人で地誌学や人文地理学の調査、研究に関するプレゼンテーションを行ない、全員でディスカッションをする。			

履修コード/科目名称	820601 / 地誌学特講Ⅲ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	小野 映介 (オノ エイスケ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	日本や世界の沖積平野を人々の活動の舞台として捉え、沖積平野の発達史について様々な時間軸・空間軸で検討するとともに、刻々と変化する舞台において人々がどのように居住し、「自然災害」に対処してきたのかを通史的に解説する。そのうえで、現在・将来における沖積低地利用のあり方を考える。		
到達目標(ねらい)	自然環境と人間活動の関連性を歴史的な文脈で捉えることができるようになること。とりわけ沖積平野を事例として、過去の現象を理解するとともに、そこから現在・将来における土地利用のあり方について考えられるようになること。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス：「人と自然の関係」を地理学で扱う意味
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	沖積平野への集住状況 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	沖積平野への集住状況 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	沖積平野への集住状況 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	沖積平野への集住状況 (4)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	沖積平野の地形発達史 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	沖積平野の地形発達史 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	沖積平野の地形発達史 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	沖積平野の地形発達史 (4)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	人々は沖積低地をどのように利用してきたのか (1)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	人々は沖積平野をどのように利用してきたのか (2)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	人々は沖積平野をどのように利用してきたのか (3)

	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	人々は沖積平野をどのように利用してきたのか (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	人々は沖積平野をどのように利用してきたのか (5)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	自然災害の多発地帯としての沖積平野 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	自然災害の多発地帯としての沖積平野 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	自然災害の多発地帯としての沖積平野 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	自然災害の多発地帯としての沖積平野 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	自然災害の多発地帯としての沖積平野 (5)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	現在・将来における沖積平野利用 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	現在・将来における沖積平野利用 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	現在・将来における沖積平野利用 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	現在・将来における沖積平野利用 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	現在・将来における沖積平野利用 (5)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	自然災害の地誌的解釈 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	自然災害の地誌的解釈 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	自然災害の地誌的解釈 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	自然災害の地誌的解釈 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分

	第 29 回	授業の計画・内容	自然災害の地誌的解釈（5）		
		準備学習 （予習・復習等）	課題図書・文献を読む.	60分	
	第 30 回	授業の計画・内容	人新世（アントロポセン）についての考察		
		準備学習 （予習・復習等）	課題図書・文献を読む.	60分	
履修上の留意点等	なるべく，双方向型の講義としたい．質問や意見を求められた際には積極的に発言して欲しい．				
成績評価の方法		試験			
	50 %	レポート			
		小テスト			
	50 %	平常点			
教科書/テキスト	講義中に指示する．				
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	宮本真二・野中健一編「ネイチャー・アンド・ソサエティ研究 第1巻 自然と人間の環境史」海青社．				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業アンケートは未実施．				
関連リンク					
実務経験がある教員による授業科目					
アクティブラーニング型の授業科目					

履修コード/科目名称	820701 / 地誌学特講Ⅲ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	小野 映介 (オノ エイスケ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	自然地理学および地誌学を構成する諸分野に関して、既存研究の到達点を理解する。また、既存研究を踏まえて新規性のある研究課題と目的を設定する。さらに、研究目的と整合性を有した調査対象地域および調査方法を選択し、調査成果をまとめる力をつける。以上を通じて、地域調査をともなう自然地理学・地誌学分野における修士論文執筆のための準備を行う。		
到達目標(ねらい)	自然地理学・地誌学分野の修士論文の執筆に向けて、課題設定から考察に至るまでの適切な手順を学ぶ。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	ガイダンス：修士論文に求められるものと執筆スケジュール
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	既存研究のレビューによる論文の構造理解 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	既存研究のレビューによる論文の構造理解 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	既存研究のレビューによる論文の構造理解 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	既存研究のレビューによる論文の構造理解 (4)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	自然地理学・地誌学的手法による地域の把握 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	自然地理学・地誌学的手法による地域の把握 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	自然地理学・地誌学的手法による地域の把握 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	自然地理学・地誌学的手法による地域の把握 (4)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	研究の課題設定についての考え方 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	研究の課題設定についての考え方 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	研究の課題設定についての考え方 (3)

	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	研究の課題設定についての考え方 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	研究対象地域の選定と調査手法の整合性 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	研究対象地域の選定と調査手法の整合性 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 16 回	授業の計画・内容	研究対象地域の選定と調査手法の整合性 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 17 回	授業の計画・内容	研究対象地域の選定と調査手法の整合性 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 18 回	授業の計画・内容	地域調査によるデータ収集 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 19 回	授業の計画・内容	地域調査によるデータ収集 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 20 回	授業の計画・内容	地域調査によるデータ収集 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 21 回	授業の計画・内容	地域調査によるデータ収集 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 22 回	授業の計画・内容	自然地理学・地誌学における各種データの処理 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 23 回	授業の計画・内容	自然地理学・地誌学における各種データの処理 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 24 回	授業の計画・内容	自然地理学・地誌学における各種データの処理 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 25 回	授業の計画・内容	自然地理学・地誌学における各種データの処理 (4)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 26 回	授業の計画・内容	取得データの分析と考察 (1)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 27 回	授業の計画・内容	取得データの分析と考察 (2)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分
第 28 回	授業の計画・内容	取得データの分析と考察 (3)	
	準備学習 (予習・復習等)	課題図書・文献を読む。	60分

	第 29 回	授業の計画・内容	取得データの分析と考察（4）	
		準備学習 （予習・復習等）	課題図書・文献を読む.	60分
	第 30 回	授業の計画・内容	研究成果の還元のあるかた（学術誌への投稿・学会発表）	
		準備学習 （予習・復習等）	課題図書・文献を読む.	60分
履修上の留意点等	修士論文の執筆にあたっては，自主的かつ着実に取り組んで欲しい.			
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
	出席，講義への参加態度，発表内容により総合的に判断する.			
教科書/テキスト	特になし.			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	講義の中で紹介する.			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業アンケートは未実施.			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	820801 / 地図学特講 I 【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	田中 靖 (タナカ ヤスシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	講義と実習の両面からコンピュータを用いた地図の作成方法と使用方法を実践的に学び、それを通して地理情報学およびその周辺分野の理論と、コンピュータ環境の整備、データの入手、データ解析手法の基礎を習得する。授業は、実習を含む講義形式で行う。		
到達目標(ねらい)	コンピュータ・GISを用いて各自の研究で必要とする地図の作成ができるようになることを目標とする。本科目は地理学専攻（修士課程）の修了認定・学位授与方針のDP2と特に関連が強く、DP1にも関連する。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	測量，地図，GISの歴史
		準備学習 (予習・復習等)	受講前に学部の地図学・測量学の復習 120分
	第 2 回	授業の計画・内容	地球楕円体
		準備学習 (予習・復習等)	授業内配布資料の精読 120分
	第 3 回	授業の計画・内容	地図投影法
		準備学習 (予習・復習等)	授業内配布資料の精読・計算 120分
	第 4 回	授業の計画・内容	コンピュータ環境の整備：ハードウェア
		準備学習 (予習・復習等)	解析用PCの準備 120分
	第 5 回	授業の計画・内容	コンピュータ環境の整備：ソフトウェア
		準備学習 (予習・復習等)	解析用ソフトウェアの設定等 120分
	第 6 回	授業の計画・内容	コンピュータによる地図作成の基本
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習 120分
	第 7 回	授業の計画・内容	ベクトルデータによる地図作成①：投影法の操作，投影（座標）変換
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習 120分
	第 8 回	授業の計画・内容	ベクトルデータによる地図作成②：シェープファイルの構造
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習・レポート作成 120分
	第 9 回	授業の計画・内容	ベクトルデータによる地図作成③：空間データ精度とその評価法
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習 120分
	第 10 回	授業の計画・内容	ベクトルデータによる地図作成④：属性データの扱い
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習・レポート作成 120分
	第 11 回	授業の計画・内容	ラスターデータによる地図作成①：衛星画像
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習 120分
	第 12 回	授業の計画・内容	ラスターデータによる地図作成②：地図画像

		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習	120分
第 13 回	授業の計画・内容	ラスタデータによる地図作成③：幾何補正，精度評価		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習・レポート作成		120分
第 14 回	授業の計画・内容	オープンデータ		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 15 回	授業の計画・内容	デジタル地図の表現技法		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 16 回	授業の計画・内容	国勢調査データ解析①：人口構造の可視化		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 17 回	授業の計画・内容	国勢調査データ解析②：人口メッシュマップ，領域内人口集計		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 18 回	授業の計画・内容	国勢調査データ解析③：人口重心，経年変化		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 19 回	授業の計画・内容	国勢調査データ解析④：人口移動		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習・レポート作成		120分
第 20 回	授業の計画・内容	土地利用データ解析①：土地利用の可視化		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 21 回	授業の計画・内容	土地利用データ解析②：土地利用変化		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 22 回	授業の計画・内容	地形データ解析①：地形データの可視化		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 23 回	授業の計画・内容	地形データ解析②：局所処理，流域処理		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 24 回	授業の計画・内容	地形データ解析③：差分解析，波長解析		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 25 回	授業の計画・内容	地形データ解析④：局所処理，流域処理		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習・レポート作成		120分
第 26 回	授業の計画・内容	地形データ解析⑤：地形変化シミュレーション		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 27 回	授業の計画・内容	気候データ解析①：観測データ・再解析データの可視化		
	準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習		120分
第 28 回	授業の計画・内容	気候データ解析②：気候区分		
	準備学習	授業内容の復習		120分

	(予習・復習等)		
	第 29 回	授業の計画・内容	時空間変化の抽出
		準備学習 (予習・復習等)	授業内容の復習 120分
	第 30 回	授業の計画・内容	まとめ
		準備学習 (予習・復習等)	全授業の振り返り 120分
履修上の留意点等	受講者は、持ち運びのできるPC持参で授業に臨むこと。 使用するソフトウェアは、ArcGIS, Erdas Imagine, Matlabなどを予定している。 データの準備や解析作業にはプログラミングの知識が必要となることが多いので、これについては主にC(C++), Python, Matlabで対応する。 16回目以降の授業の内容は、受講者のフィールドや研究テーマに合わせて調整可能であるので、どのような地図を作りたいか考えながら授業に臨んでほしい。		
成績評価の方法		試験	
	60 %	レポート	
		小テスト	
	40 %	平常点	
	定期試験は実施しない。		
教科書/テキスト	適宜紹介する。		
参考書 ▶ 図書館蔵書検索			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、アンケート対象外。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			
アクティブラーニング型の授業科目			

履修コード/科目名称	820901 / 地図学特講 I 【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	田中 靖 (タナカ ヤスシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	修士論文の作成を通して、地理情報学および自然地理学に関する最新の知見を理解する基礎学力を身に付け、また、研究成果を社会に発信するのに必要な能力を養うことを目標とする。そのために、受講生が実際に研究対象としている地域について、関連する論文のレビュー、室内調査、野外調査を行う。授業は演習形式で行う。		
到達目標(ねらい)	地理情報学、自然地理学に関する修士論文の完成を目標とする。本科目は地理学専攻（修士課程）の修了認定・学位授与方針のDP3と特に関連が強く、DP1・DP2にも関連する。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	オリエンテーション
		準備学習 (予習・復習等)	研究テーマの整理 120分
	第 2 回	授業の計画・内容	地理情報学と自然地理学の研究分野
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料による復習 120分
	第 3 回	授業の計画・内容	最新の研究動向①：地理情報学
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料による復習 120分
	第 4 回	授業の計画・内容	最新の研究動向②：自然地理学
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料による復習 120分
	第 5 回	授業の計画・内容	研究テーマの位置づけと研究目的の再吟味
		準備学習 (予習・復習等)	レポート作成 120分
	第 6 回	授業の計画・内容	国土数値情報にもとづく地域分析①：地形表示
		準備学習 (予習・復習等)	計算・図化・解釈 120分
	第 7 回	授業の計画・内容	国土数値情報にもとづく地域分析②：地形計測
		準備学習 (予習・復習等)	計算・図化・解釈・レポート作成 120分
	第 8 回	授業の計画・内容	リモートセンシングによる地域分析①：植生
		準備学習 (予習・復習等)	計算・図化・解釈 120分
	第 9 回	授業の計画・内容	リモートセンシングによる地域分析②：土地利用・地形判読
		準備学習 (予習・復習等)	計算・図化・解釈・レポート作成 120分
	第 10 回	授業の計画・内容	気候データにもとづく地域分析①：気温
		準備学習 (予習・復習等)	計算・図化・解釈 120分
	第 11 回	授業の計画・内容	気候データにもとづく地域分析②：降水量
		準備学習 (予習・復習等)	計算・図化・解釈 120分
	第 12 回	授業の計画・内容	気候データにもとづく地域分析③：その他

	準備学習 (予習・復習等)	計算・図化・解釈・レポート作成	120分
第 13 回	授業の計画・内容	全球気候再解析データの利用①：地図化	
	準備学習 (予習・復習等)	計算・図化・解釈	120分
第 14 回	授業の計画・内容	全球気候再解析データの利用②：気候区分	
	準備学習 (予習・復習等)	計算・図化・解釈・レポート作成	120分
第 15 回	授業の計画・内容	調査計画の立案と調整	
	準備学習 (予習・復習等)	これまでの講義内容の復習	120分
第 16 回	授業の計画・内容	観測データの取得	
	準備学習 (予習・復習等)	データ取得準備・データ整理作業	120分
第 17 回	授業の計画・内容	観測データの整理	
	準備学習 (予習・復習等)	データ整理作業	120分
第 18 回	授業の計画・内容	観測データの処理と図化①：測量データ	
	準備学習 (予習・復習等)	データ整理作業・レポート作成	120分
第 19 回	授業の計画・内容	観測データの処理と図化②：気候データ	
	準備学習 (予習・復習等)	データ整理作業・レポート作成	120分
第 20 回	授業の計画・内容	観測データの処理と図化③：水質データ	
	準備学習 (予習・復習等)	データ整理作業・レポート作成	120分
第 21 回	授業の計画・内容	データ分析法①：統計分析	
	準備学習 (予習・復習等)	計算作業	120分
第 22 回	授業の計画・内容	データ分析法②：空間統計	
	準備学習 (予習・復習等)	計算作業	120分
第 23 回	授業の計画・内容	データ分析法③：モデル化	
	準備学習 (予習・復習等)	計算作業・レポート作成	120分
第 24 回	授業の計画・内容	分析結果の考察	
	準備学習 (予習・復習等)	第21～23回の授業内容の復習	120分
第 25 回	授業の計画・内容	論文構成の検討	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内で課題を提示	120分
第 26 回	授業の計画・内容	論文の執筆	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内で課題を提示	120分
第 27 回	授業の計画・内容	論文の推敲	
	準備学習 (予習・復習等)	授業内で課題を提示	120分
第 28 回	授業の計画・内容	研究成果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表準備	120分

	第 29 回	授業の計画・内容	研究成果の還元	
		準備学習 (予習・復習等)	授業内で課題を提示	120分
	第 30 回	授業の計画・内容	まとめと今後の課題の整理	
		準備学習 (予習・復習等)	全授業の振り返り	120分
履修上の留意点等	この授業の内容は、各受講者の研究テーマに合わせて調整する。			
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
	50 %	研究の質		
	定期試験は実施しない。			
教科書/テキスト	特になし			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、アンケート対象外。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	821401 / 地域文化研究特講Ⅱ【講義】 821402 / 経済地理学特講【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	須山 聡 (スヤマ サトシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	文化景観の構築とその読みについて講義する。		
到達目標(ねらい)	文化景観を批判的に読解する観察眼を持てるようになることを目標とする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	テキスト論と景観
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	景観のテキスト化
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	景観の記号論的解釈
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	景観の意味作用
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	メディアとしての景観
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	景観の演出
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	権力と景観
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	権力による景観利用
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	景観の呈示による支配
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	権威の景観
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	景観リテラシー
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	読みの強要
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する 60分
	第 13 回	授業の計画・内容	イデオロギー化された景観
		準備学習	

		(予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する	60分
第 14 回	授業の計画・内容	景観の資源化		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 15 回	授業の計画・内容	景観の商品化		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 16 回	授業の計画・内容	景観の「価値」の発見		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 17 回	授業の計画・内容	観光資源としての景観		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 18 回	授業の計画・内容	地域の遺産としての景観		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 19 回	授業の計画・内容	教育の資源としての景観		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 20 回	授業の計画・内容	郷土・国家・地域アイデンティティと景観		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 21 回	授業の計画・内容	景観保全の概念		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 22 回	授業の計画・内容	文化財としての景観		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 23 回	授業の計画・内容	世界遺産と景観		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 24 回	授業の計画・内容	景観 3 法による保全と利用		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 25 回	授業の計画・内容	景観保全と景観修景		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 26 回	授業の計画・内容	非文字資料としての景観		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 27 回	授業の計画・内容	さまざまなテキストと景観		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 28 回	授業の計画・内容	人間の営為の刻印		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分
第 29 回	授業の計画・内容	生きられる空間と景観		
	準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する		60分

	第 30 回	授業の計画・内容	総括	
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した論文等を熟読する	60分
履修上の留意点等	講義科目ではあるが、議論を重視する。			
成績評価の方法		試験		
	50 %	レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
		講義の理解度を議論を通じて評価する。		
教科書/テキスト	随時文献を紹介する。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	指定しない。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	受講者の理解に沿った講義を心がける。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目	授業参加者全員による双方向型授業。			

履修コード/科目名称	821501 / 地域文化研究特講Ⅱ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	須山 聡 (スヤマ サトシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	文化景観・産業景観などの諸問題を考究する。		
到達目標(ねらい)	修士論文の作成を目標とする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	1 年生：研究課題の探索と明確化 1 2 年生：論文構成案の提示 1
		準備学習 (予習・復習等)	シラバスを熟読し、授業の趣旨を理解する。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	1 年生：研究課題の探索と明確化 2 2 年生：論文構成案の提示 2
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分
	第 3 回	授業の計画・内容	1 年生：研究課題の探索と明確化 3 2 年生：論文構成案の提示 3
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分
	第 4 回	授業の計画・内容	1 年生：先行研究の検索 1 2 年生：現地調査計画 1
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分
	第 5 回	授業の計画・内容	1 年生：先行研究の検索 2 2 年生：現地調査計画 2
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分
	第 6 回	授業の計画・内容	1 年生：先行研究の批判的検討 1 2 年生：資料収集と分析 1
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分
	第 7 回	授業の計画・内容	1 年生：先行研究の批判的検討 2 2 年生：資料収集と分析 2
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分
	第 8 回	授業の計画・内容	1 年生：先行研究の批判的検討 3 2 年生：資料収集と分析 3
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分
	第 9 回	授業の計画・内容	1 年生：先行研究の批判的検討 4 2 年生：現地調査報告 1
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分
	第 10 回	授業の計画・内容	1 年生：新たな方法論の模索 1 2 年生：現地調査報告 2
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分
	第 11 回	授業の計画・内容	1 年生：新たな方法論の模索 2 2 年生：データ分析 1
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。 120分

第 12 回	授業の計画・内容	1 年生：新たな方法論の模索 3 2 年生：データ分析 2	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 13 回	授業の計画・内容	1 年生：新たな方法論の模索 4 2 年生：第 2 回調査計画 1	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 14 回	授業の計画・内容	各自の課題を遂行する。1 年生：新たな方法論の模索 5 2 年生：第 2 回調査計画 2	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 15 回	授業の計画・内容	1 年生：前期の総括 2 年生：前期の総括	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。各自の課題を遂行する。	120分
第 16 回	授業の計画・内容	1 年生：予備調査の計画 1 2 年生：現地調査報告 3	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 17 回	授業の計画・内容	1 年生：予備調査の計画 2 2 年生：現地調査報告 4	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 18 回	授業の計画・内容	1 年生：予備調査 1 2 年生：データ分析 3	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 19 回	授業の計画・内容	1 年生：予備調査 2 2 年生：データ分析 4	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 20 回	授業の計画・内容	1 年生：予備調査 3 2 年生：データ分析 5	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 21 回	授業の計画・内容	1 年生：成果の分析 1 2 年生：不足部分の確認	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 22 回	授業の計画・内容	1 年生：成果の分析 2 2 年生：補充調査報告	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 23 回	授業の計画・内容	1 年生：成果の分析 3 2 年生：論文構成の再検討	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 24 回	授業の計画・内容	1 年生：成果の発表 1 2 年生：執筆開始	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分
第 25 回	授業の計画・内容	1 年生：成果の発表 2 2 年生：執筆経過報告 1	
	準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分

	第 26 回	授業の計画・内容	1 年生：研究課題の提案と批判 1 2 年生：執筆経過報告 2		
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分	
	第 27 回	授業の計画・内容	1 年生：研究課題の提案と批判 2 2 年生：執筆経過報告 3		
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分	
	第 28 回	授業の計画・内容	1 年生：研究課題の提案と批判 3 2 年生：執筆経過報告 4		
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分	
	第 29 回	授業の計画・内容	1 年生：研究方法の吟味 2 年生：体裁の確認		
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分	
	第 30 回	授業の計画・内容	1 年生：研究計画の完成 2 年生：最終発表		
		準備学習 (予習・復習等)	各自の課題を遂行する。	120分	
	履修上の留意点等	発表と討論により進行する。			
	成績評価の方法		試験		
		レポート			
		小テスト			
100 %		平常点			
取り組みの度合いにより評価する。					
教科書/テキスト	とくに指定しない。				
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	随時紹介する。				
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	受講者とともに知恵を出し合いたい。				
関連リンク					
実務経験がある教員による授業科目					
アクティブラーニング型の授業科目	授業参加者全員による双方向型授業。				

履修コード/科目名称	821601 / 地域環境研究特講Ⅰ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	鈴木 重雄 (スズキ シゲオ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	景観生態学の理論と研究手法について講義を行う。前期は、景観生態学の理論の紹介を英語の文献の講読を含めて行う。後期は、地域の生態情報を空間統計学的手法により解析する手法を解析手法の実習をも交えて紹介する。授業は、講義を中心に行うものの、文献講読や作業課題を含むレポートを課すので、主体的に取り組むようにして欲しい。		
到達目標(ねらい)	本科目は、地理学専攻の学位授与の方針に示された「高度な専門知識と問題解決能力を有し、社会に貢献する人材となる。」に深く関連しています。 この授業では、 ・地域の生態系が形成されるメカニズムを理解する。 ・景観生態学の調査理論を身につける。 ・地域環境研究を行う際に、適切な空間統計学的手法の選択ができる。 ことを目標とする。		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	地域の生態系とは何か
		準備学習 (予習・復習等)	シラバスの確認 120分
	第2回	授業の計画・内容	生物分布に影響を及ぼす外的要因
		準備学習 (予習・復習等)	レジユメの精読による前回の復習 120分
	第3回	授業の計画・内容	生物の移動
		準備学習 (予習・復習等)	レジユメの精読による前回の復習 120分
	第4回	授業の計画・内容	生物分布に影響を及ぼす地史的要因
		準備学習 (予習・復習等)	レジユメの精読による前回の復習 120分
	第5回	授業の計画・内容	生物分布に影響を及ぼす種間関係
		準備学習 (予習・復習等)	レジユメの精読による前回の復習 120分
	第6回	授業の計画・内容	攪乱と遷移
		準備学習 (予習・復習等)	レジユメの精読による前回の復習 120分
	第7回	授業の計画・内容	生態系内の物質循環
		準備学習 (予習・復習等)	レジユメの精読による前回の復習 120分
	第8回	授業の計画・内容	景観モザイク構造と生物多様性
		準備学習 (予習・復習等)	レジユメの精読による前回の復習 120分
	第9回	授業の計画・内容	景観モザイク構造の調査方法(1) 空中写真判読
		準備学習 (予習・復習等)	レジユメの精読による前回の復習 120分
	第10回	授業の計画・内容	景観モザイク構造の調査方法(2) GISへの入力
		準備学習 (予習・復習等)	前回終わらなかった作業の完成 120分
	第11回	授業の計画・内容	景観モザイク構造の調査方法(3) GISでの分析

	準備学習 (予習・復習等)	前回終わらなかった作業の完成	120分
第 12 回	授業の計画・内容	景観モザイク構造と他の空間データの解析	
	準備学習 (予習・復習等)	前回終わらなかった作業の完成	120分
第 13 回	授業の計画・内容	地域の生態系の保全	
	準備学習 (予習・復習等)	前回終わらなかった作業の完成	120分
第 14 回	授業の計画・内容	植生学・景観生態学に関する英語文献の講読(1)	
	準備学習 (予習・復習等)	授業中で指示した英語の論文の精読	120分
第 15 回	授業の計画・内容	植生学・景観生態学に関する英語文献の講読(2)	
	準備学習 (予習・復習等)	授業中で指示した英語の論文の精読	120分
第 16 回	授業の計画・内容	空間情報の特性と解析ツール	
	準備学習 (予習・復習等)	前期の授業の復習	120分
第 17 回	授業の計画・内容	平均値とその比較	
	準備学習 (予習・復習等)	レジュメの精読による前回の復習	120分
第 18 回	授業の計画・内容	単回帰分析	
	準備学習 (予習・復習等)	レジュメの精読による前回の復習	120分
第 19 回	授業の計画・内容	相関分析	
	準備学習 (予習・復習等)	レジュメの精読による前回の復習	120分
第 20 回	授業の計画・内容	重回帰分析	
	準備学習 (予習・復習等)	レジュメの精読による前回の復習	120分
第 21 回	授業の計画・内容	重回帰分析の景観生態学への応用	
	準備学習 (予習・復習等)	授業中で指示した論文の精読	120分
第 22 回	授業の計画・内容	主成分分析	
	準備学習 (予習・復習等)	レジュメの精読による前回の復習	120分
第 23 回	授業の計画・内容	主成分回帰分析	
	準備学習 (予習・復習等)	レジュメの精読による前回の復習	120分
第 24 回	授業の計画・内容	主成分回帰分析の景観生態学への応用	
	準備学習 (予習・復習等)	授業中で指示した論文の精読	120分
第 25 回	授業の計画・内容	ロジスティック回帰分析	
	準備学習 (予習・復習等)	レジュメの精読による前回の復習	120分
第 26 回	授業の計画・内容	一般化線形モデル	
	準備学習 (予習・復習等)	レジュメの精読による前回の復習	120分
第 27 回	授業の計画・内容	ベイズ理論・空間自己相関	
	準備学習 (予習・復習等)	レジュメの精読による前回の復習	120分

	第 28 回	授業の計画・内容	一般化線形モデルの景観生態学への応用	
		準備学習 (予習・復習等)	授業中で指示した論文の精読	120分
	第 29 回	授業の計画・内容	空間統計学的手法を用いた景観生態学の解析(1)	
		準備学習 (予習・復習等)	各々の研究テーマに統計学的手法を応用したりレポートの作成	120分
	第 30 回	授業の計画・内容	空間統計学的手法を用いた景観生態学の解析(2)	
		準備学習 (予習・復習等)	各々の研究テーマに統計学的手法を応用したりレポートの作成	120分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
	80 %	レポート		
		小テスト		
	20 %	平常点		
		レポートは、授業内で文献の講読や作業を含む課題を出題し、授業で取り扱った内容と文献の理解や作業が正確に行えているかで評価する。平常点は、各授業への参加態度により評価する。		
	教科書/テキスト		特になし	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索		授業内で指示をする。		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について		この科目は、「学生による授業アンケート」の対象外のため、実施していない。		
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	821701 / 地域環境研究特講Ⅰ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	鈴木 重雄 (スズキ シゲオ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	植生学、景観生態学を中心とする自然地理学の修士論文の作成に向け、既往研究の整理と自らの研究テーマに沿った調査・分析手法の検討と論文執筆について演習を行う。授業は、演習形式で行うので、主体的に取り組むことが必須である。		
到達目標(ねらい)	本講義は、地理学専攻の学位授与の方針に示された「高度な専門知識と問題解決能力を有し、社会に貢献する人材となる。」に深く関連している。 この授業では、 ・地域の自然環境に関する専門的な理論や研究手法を理解する。 ・自然地理学の調査計画の立案・調査の実施・データ分析・論文執筆を行う高度な能力を身につける。 ことを目標とする。		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	修士論文執筆のすすめ方
		準備学習 (予習・復習等)	シラバスの確認 120分
	第2回	授業の計画・内容	研究テーマの設定
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分
	第3回	授業の計画・内容	研究テーマの設定
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分
	第4回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する既往研究のレビュー
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分
	第5回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する既往研究のレビュー
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分
	第6回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する既往研究のレビュー
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分
	第7回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する既往研究のレビュー
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分
	第8回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する既往研究のレビュー
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分
	第9回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する既往研究のレビュー
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分
	第10回	授業の計画・内容	研究テーマに関連する既往研究のレビュー
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分
	第11回	授業の計画・内容	調査方法・分析手法の検討
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業 120分

第 12 回	授業の計画・内容	調査方法・分析手法の検討	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 13 回	授業の計画・内容	調査方法・分析手法の検討	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 14 回	授業の計画・内容	調査方法・分析手法の検討	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 15 回	授業の計画・内容	調査方法・分析手法の検討	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 16 回	授業の計画・内容	調査結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 17 回	授業の計画・内容	調査結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 18 回	授業の計画・内容	調査結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 19 回	授業の計画・内容	調査結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 20 回	授業の計画・内容	調査結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 21 回	授業の計画・内容	分析結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 22 回	授業の計画・内容	分析結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 23 回	授業の計画・内容	分析結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 24 回	授業の計画・内容	分析結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 25 回	授業の計画・内容	分析結果の発表	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 26 回	授業の計画・内容	修士論文の執筆	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 27 回	授業の計画・内容	修士論文の執筆	
	準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
第 28 回	授業の計画・内容	修士論文の執筆	

		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
	第 29 回	授業の計画・内容	修士論文の執筆	
		準備学習 (予習・復習等)	発表の準備、修士論文研究の作業	120分
	第 30 回	授業の計画・内容	修士論文の執筆	
準備学習 (予習・復習等)		発表の準備、修士論文研究の作業	120分	
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
		レポート		
		小テスト		
	100 %	平常点		
		授業への参加態度、発表の完成度により総合的に判断する。		
教科書/テキスト	特になし			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業内で指示をする。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	この科目は、「学生による授業アンケート」の対象外のため、実施していない。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目	本科目は、プレゼンテーションにもとづくディスカッションを中心に進める。			

履修コード/科目名称	821801 / 地域環境研究特講Ⅱ【講義】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	江口 卓 (エグチ タカシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	最初に、日本を含むモンスーンアジアの気候について講義を行う。さらに、それをもとに、モンスーンアジアの気候に関連した環境問題について考える。		
到達目標(ねらい)	気候に関連した環境問題に対する理解を、地理学の見地から深めることを目標とする。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	気候研究におけるモンスーンの位置づけ／ガイダンス
		準備学習 (予習・復習等)	授業の目的と進め方について十分理解する 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	モンスーンとは
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	グローバルスケールからみたモンスーンの位置づけ
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	モンスーンの季節変化
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	モンスーンの降水分布
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	モンスーン循環
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	モンスーンの形成要因
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	モンスーンの季節内変動
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	モンスーンの経年変化
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	モンスーンと ENSO の関連
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	モンスーンとユーラシア大陸の積雪の関連
		準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	ヒマラヤのモンスーン
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容をまとめ、復習する 120分
	第 13 回	授業の計画・内容	ヒマラヤの気候の地域差

	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 14 回	授業の計画・内容	ヒマラヤの気候の地域差の要因	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 15 回	授業の計画・内容	ヒマラヤと氷河	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 16 回	授業の計画・内容	インドシナモンスーン	
	準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容をまとめ、復習する	90分
第 17 回	授業の計画・内容	インドシナモンスーンの降水の地域差	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 18 回	授業の計画・内容	インドシナモンスーンの地域差の要因	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 19 回	授業の計画・内容	アジアの植生	
	準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容をまとめ、復習する	90分
第 20 回	授業の計画・内容	モンスーンとアジアの植生の関連	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 21 回	授業の計画・内容	ヒマラヤ地域の植生	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 22 回	授業の計画・内容	ヒマラヤ地域の植生と気候の関連	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 23 回	授業の計画・内容	モンスーンアジアの環境問題	
	準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容をまとめ、復習する	90分
第 24 回	授業の計画・内容	モンスーンアジアの気象災害	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 25 回	授業の計画・内容	モンスーンアジアの気象災害の要因	
	準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容をまとめ、復習する	90分
第 26 回	授業の計画・内容	モンスーンアジアの大気汚染問題	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 27 回	授業の計画・内容	モンスーンアジアの酸性雨	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 28 回	授業の計画・内容	モンスーンアジアの地球温暖化の影響	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分
第 29 回	授業の計画・内容	ヒマラヤの環境問題	
	準備学習 (予習・復習等)	配布資料をもとに授業内容を復習	60分

	第 30 回	授業の計画・内容	モンスーンとモンスーンアジアの環境問題のまとめ	
		準備学習 (予習・復習等)	前回までの講義内容をまとめ、復習する	90分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
	40 %	レポート		
		小テスト		
	60 %	平常点		
教科書/テキスト	特になし。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	講義中に適宜紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、授業アンケート未実施（授業アンケート対象外科目）。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	821851 / 地域環境研究特講Ⅱ【演習】		
開講年度・期	2020年 通年	開講曜日・時限	
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	江口 卓 (エグチ タカシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	気候学を中心とした自然環境に関する論文の講読を行うとともに、研究成果の発表を行い、参加者全員で討議する。		
到達目標(ねらい)	最新の研究論文の講読や論文の作成過程を通して、環境研究に対する理解を深める。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	研究計画の打ち合わせ
		準備学習 (予習・復習等)	事前に、研究テーマとその内容について考えておくこと 90分
	第 2 回	授業の計画・内容	研究テーマの検討 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	研究テーマと内容の再考 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	研究テーマの検討 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	研究テーマと内容の再考 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	文献報告 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	文献報告の準備をする 90分
	第 5 回	授業の計画・内容	文献報告 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	文献報告の準備をする 90分
	第 6 回	授業の計画・内容	文献報告 (3)
		準備学習 (予習・復習等)	文献報告の準備をする 90分
	第 7 回	授業の計画・内容	解析データについて
		準備学習 (予習・復習等)	データの収集方法を検討する 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	データの解析手法について (1)
		準備学習 (予習・復習等)	事後に、データの解析を行う 90分
	第 9 回	授業の計画・内容	データの解析手法について (2)
		準備学習 (予習・復習等)	事後に、データの解析を行う 90分
	第 10 回	授業の計画・内容	研究テーマと研究計画の再検討
		準備学習 (予習・復習等)	事前に、研究計画を修正する 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	データ解析 (1)
		準備学習 (予習・復習等)	事後に、データの解析を行う 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	データ解析 (2)
		準備学習 (予習・復習等)	事後に、データの解析を行う 60分
	第 13 回	授業の計画・内容	データ解析 (3)

	準備学習 (予習・復習等)	事後に、データの解析を行う	60分
第 14 回	授業の計画・内容	データ解析結果のまとめと考察	
	準備学習 (予習・復習等)	解析結果のまとめを行い、発表する	90分
第 15 回	授業の計画・内容	これまでの研究のまとめと今後の研究計画の再構築	
	準備学習 (予習・復習等)	研究結果の整理と計画を再考する	90分
第 16 回	授業の計画・内容	研究結果の報告（１）	
	準備学習 (予習・復習等)	研究結果をまとめ、報告する	90分
第 17 回	授業の計画・内容	研究結果の報告（２）	
	準備学習 (予習・復習等)	研究結果をまとめ、報告する	90分
第 18 回	授業の計画・内容	研究計画の再検討	
	準備学習 (予習・復習等)	研究結果をまとめ、研究計画を再考する	90分
第 19 回	授業の計画・内容	文献報告（４）	
	準備学習 (予習・復習等)	文献報告の準備をする	90分
第 20 回	授業の計画・内容	文献報告（５）	
	準備学習 (予習・復習等)	文献報告の準備をする	90分
第 21 回	授業の計画・内容	データ解析（４）	
	準備学習 (予習・復習等)	事後に、データの解析を行う	90分
第 22 回	授業の計画・内容	データ解析（５）	
	準備学習 (予習・復習等)	事後に、データの解析を行う	90分
第 23 回	授業の計画・内容	データ解析（６）	
	準備学習 (予習・復習等)	事後に、データの解析を行う	90分
第 24 回	授業の計画・内容	データ解析結果のまとめと考察	
	準備学習 (予習・復習等)	解析結果のまとめを行い、発表する	90分
第 25 回	授業の計画・内容	研究計画の再検討	
	準備学習 (予習・復習等)	研究計画を再考する	90分
第 26 回	授業の計画・内容	文献報告（６）	
	準備学習 (予習・復習等)	文献報告の準備をする	90分
第 27 回	授業の計画・内容	データ解析（７）	
	準備学習 (予習・復習等)	事後に、データの解析を行う	90分
第 28 回	授業の計画・内容	データ解析結果のまとめと考察	
	準備学習 (予習・復習等)	解析結果のまとめを行う	90分
第 29 回	授業の計画・内容	研究成果の報告	
	準備学習 (予習・復習等)	研究成果の発表の準備をする	90分

	第 30 回	授業の計画・内容	これまでの研究のまとめと今後の研究計画の構築	
		準備学習 (予習・復習等)	発表に対するコメントをもとに、研究計画を再考する	90分
履修上の留意点等				
成績評価の方法		試験		
	60 %	レポート		
		小テスト		
	40 %	平常点		
教科書/テキスト	特になし。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	演習中に適宜紹介する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	大学院科目のため、授業アンケート未実施（授業アンケート対象外科目）。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				

履修コード/科目名称	821861 / 地域調査特講【講義】		
開講年度・期	2020年 前期	開講曜日・時限	
単位数	2		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	須山 聡 (スヤマ サトシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	本講義は、地域調査を主たる調査方法として修士論文を作成する学生を対象とし、実践的な調査計画の立案能力を身につけさせることを趣旨としている。したがって、授業全体が地域調査の企画・設計のために必要な知識やスキルの具体例を講義することに向けられ、受講者それぞれの課題に応じて、実際に修士論文のための調査計画を受講者自身が作成することを支援する科目である。		
到達目標(ねらい)	実現可能で課題達成のために効果的な地域調査の企画・設計を行う知識と技能を習得する。		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	オリエンテーション
		準備学習 (予習・復習等)	構想を考える 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	対象地域の選定(1)：調査候補地の提示
		準備学習 (予習・復習等)	調査候補地を考える 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	対象地域の選定(2)：候補地の絞り込み、スクリーニング
		準備学習 (予習・復習等)	調査候補地を考える 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	調査目的の設定：研究目的との整合性の検証
		準備学習 (予習・復習等)	研究目的について考える 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	調査手法の検討(1)：文献調査・統計調査
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した文献を熟読する 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	調査手法の検討(2)：景観調査・土地利用調査
		準備学習 (予習・復習等)	調査手法について考える 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	調査手法の検討(3)：聞き取り調査・参与観察・質問紙
		準備学習 (予習・復習等)	調査手法について考える 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	知りたいことと知られたくないこと：個人情報と地域調査
		準備学習 (予習・復習等)	調査手法について考える 60分
	第 9 回	授業の計画・内容	協力者の見つけ方：地元住民・行政・メディアへの協力要請、コンプライアンス
		準備学習 (予習・復習等)	調査手法について考える 60分
	第 10 回	授業の計画・内容	調査される迷惑：宮本常一を反面教師に
		準備学習 (予習・復習等)	紹介した文献を熟読する 60分
	第 11 回	授業の計画・内容	調査計画の立案(1)：調査項目のリストアップ
		準備学習 (予習・復習等)	調査計画を立案する 60分
	第 12 回	授業の計画・内容	調査計画の立案(2)：調査項目の精査

		準備学習 (予習・復習等)	調査項目を再考する	60分
	第 13 回	授業の計画・内容	調査計画の立案（3）：調査票の作成	
		準備学習 (予習・復習等)	調査票を作成する	60分
	第 14 回	授業の計画・内容	調査計画の立案（4）：必要機材の準備・整備	
		準備学習 (予習・復習等)	調査計画を作成する	60分
	第 15 回	授業の計画・内容	調査計画の立案（5）：調査スケジュールの決定	
準備学習 (予習・復習等)		調査計画を作成する	60分	
履修上の留意点等	集中科目「フィールドワーク」と後期科目「地域評価特講」を合わせて受講することが望ましい。			
成績評価の方法		試験		
	50 %	レポート		
		小テスト		
	50 %	平常点		
	授業参加の積極性と作成された調査計画のクオリティによって判断する。			
教科書/テキスト	指定しない。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	必要に応じて参考文献を提示するが，学部の授業で読んだフィールドワークの手法に関する文献を改めて精読されたい。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	公益社団法人日本地理学会の認定資格「専門地域調査士」の科目認定を受けた授業科目である。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目	専門地域調査士			
アクティブラーニング型の授業科目	野外調査の準備科目			

履修コード/科目名称	821871 / 地域評価特講【講義】		
開講年度・期	2020年 後期	開講曜日・時限	
単位数	2		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	須山 聡 (スヤマ サトシ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	本科目は、地域調査に基づいて地域の実態を正確にとらえ、当該の地域が抱える諸問題を摘出し、地域計画や地域振興に資する地域に根づいた提案能力を身につけることを趣旨とする。なお、本科目は「地域調査特講」および「フィールドワーク」と連動しているため、これらを合わせて履修することが望ましい。本講義が基盤とする「地域調査特講」「フィールドワーク」は受講生の修士論文調査の趣旨に沿ったものであるが、本科目ではそれとは別に、得られた調査結果から地域の評価方法を習得することを企図している。		
到達目標(ねらい)	地域調査から得られたデータを正確に分析し、それを精密に記述する報告書作成のスキルを身につけることが第1の目標である。それに基づき、地域に内包される問題点を摘出し、改善を提案する地域診断レポートを作成することが第2の目標である。		
授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	1. 調査報告書の作成(1): 報告書の目的
		準備学習 (予習・復習等)	報告書の目的を考える。 120分
	第2回	授業の計画・内容	2. 調査報告書の作成(2): 報告書の構成
		準備学習 (予習・復習等)	報告書の構成を考える。 120分
	第3回	授業の計画・内容	3. 調査報告書の作成(3): データの整理
		準備学習 (予習・復習等)	収集データを整理する。 120分
	第4回	授業の計画・内容	4. 調査報告書の作成(4): データの分析
		準備学習 (予習・復習等)	収集データを分析する。 120分
	第5回	授業の計画・内容	5. 調査報告書の作成(5): データの地図表現
		準備学習 (予習・復習等)	収集データを地図化する。 120分
	第6回	授業の計画・内容	6. 調査報告書の作成(6): 結果の検討
		準備学習 (予習・復習等)	データを分析する。 120分
	第7回	授業の計画・内容	7. 調査報告書の作成(7): 報告書の執筆
		準備学習 (予習・復習等)	報告書を執筆する。 120分
	第8回	授業の計画・内容	8. 調査報告書の発表: プレゼンテーション
		準備学習 (予習・復習等)	発表を準備する。 120分
	第9回	授業の計画・内容	9. 地域の評価(1): アドバンテージの評価
		準備学習 (予習・復習等)	地域の特徴を把握する。 120分
	第10回	授業の計画・内容	10. 地域の評価(2): 問題点の抽出
		準備学習 (予習・復習等)	地域の問題点を抽出する。 120分
	第11回	授業の計画・内容	11. 地域の評価(3): 問題点の整理
		準備学習 (予習・復習等)	問題点を総括する。 120分

	第 12 回	授業の計画・内容	12. 地域の評価（４）：原因の究明	
		準備学習 （予習・復習等）	問題点の発生要因を考察する。	120分
	第 13 回	授業の計画・内容	13. 地域の評価（５）：解決策・改善策の提案	
		準備学習 （予習・復習等）	改善案を考える。	120分
	第 14 回	授業の計画・内容	14. 地域の評価（６）：地域診断レポートの作成	
		準備学習 （予習・復習等）	レポートを執筆する。	120分
	第 15 回	授業の計画・内容	15. 地域診断レポートの発表：プレゼンテーション	
		準備学習 （予習・復習等）	発表の準備をする。	120分
履修上の留意点等	「地域調査特講」「フィールドワーク」の履修が前提である。			
成績評価の方法		試験		
	75 %	レポート		
		小テスト		
	25 %	平常点		
	授業の成果である調査報告書の出来を重視する。			
教科書/テキスト	指定しない。			
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	必要に応じて参考文献を提示する。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	公益社団法人日本地理学会の認定資格「専門地域調査士」の科目認定を受けた授業科目である。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目	専門地域調査士			
アクティブラーニング型の授業科目	地域調査の事後評価			